

九州地区大学図書館協議会誌

第 65 号

2022

九州地区大学図書館協議会

目 次

【巻 頭 言】

福岡県立大学附属図書館長	石 田 智恵美	1
--------------	---------	---

【寄 稿 論 文】

“学生ファースト”の視点での後援会と図書館の連携・情報共有について	福岡県立大学附属図書館 山 本 信 一	3
配置場所統合による図書貸出数の変化について	宮崎大学附属図書館 寸 田 五 郎	6

【図 書 館 紹 介】

鹿児島大学附属図書館桜ヶ丘分館	11
九州大学附属図書館医学図書館	13
佐賀大学附属図書館医学分館	17
別府大学附属図書館	20

【加盟館ニュース】	25
-----------	----

【図書館活動報告】	42
-----------	----

【事務局報告】	51
---------	----

【協議会総会記録】	53
-----------	----

【資 料】

九州地区大学図書館協議会会則	58
九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則	59
九州地区大学図書館協議会入会に関する細則	60
九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規	64
九州地区大学図書館協議会表彰規程	64
研修会の補助に関する申合せ	69
副幹事館の役割	71
九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について	71
加盟館一覧	73
役員館一覧	77
総会当番館一覧	82

【変化する現状への取組】

福岡県立大学附属図書館長 石田智恵美

はじめに

現在、大学図書館を取り巻く環境は急激に変化しています。18歳人口の減少、グローバル化、大学の教育機能に対する社会的要請、研究成果の社会への還元などに加え、電子化の進展や学術情報流通も変化しており、大学図書館にも大きな変革が求められています。

1. 大学図書館に求められるもの

2010年12月、科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会から出された「大学図書館の整備について：変革する大学にあって求められる大学図書館像（審議のまとめ）」¹⁾によると、大学図書館の求められる機能・役割として、以下の4つが掲げられています。

【学習支援及び教育活動への直接の関与】

学生が主体的に学ぶことの重要性が再認識され、その支援を行うことが大学図書館にも求められています。ラーニング・コモンズやレファレンスサービスなどを指します。また、学生が大学を卒業して以降も生涯にわたり自ら学習し課題解決するためには各種のツールを使いこなし、得られたデータや情報を分析・評価し、その成果を発信する能力が求められており、それらを支援する教育活動も必要です。

【研究活動に即した支援と知の生産への貢献】

研究者に対する支援は、学術雑誌・図書・情報へのアクセスの確保などで、大学で構築されている機関リポジトリは、学術情報

を流通させ、公開の迅速性を確保することが期待されます。

【コレクション構築と適切なナビゲーション】

図書・資料の収集および蓄積については、電子ジャーナルの利用が増加したと並行して、継続的な価格の上昇のため、効率的な整備に向けた検討が必要になっていきます。

【他機関・地域等との連携及び国際対応】

大学の機能として、社会・地域連携を担う組織としての位置づけや社会に対して開かれた存在であることが望まれています。

2. 本学の概要

福岡県立大学は、1992年に開学し、当初からの学部である人間社会学部と2003年に開設された看護学部の、2つの学部で構成されています。1学年定員が240名という比較的小規模な大学ですが、保健・福祉の専門分野の人材育成を目指しています。

本学は法人評価としては第3期中期計画の5年目を迎え、附属図書館も複数の目標に取り組んでいます。

3. 附属図書館の目標

本学の図書館は本館・分館に分かれ、本館は人文系の書籍を中心に約13万3千冊、分館は医療・看護系の専門書が約2万2千冊を所蔵しています。

＜学習支援のための環境整備＞

学生の自主的学修を促すために、学術情報基盤としての図書館の環境を整備すること、また、社会人学生が学びやすい学修環

境とすることを目標にしています。

<研究活動に即した支援>

多様な研究成果を積極的に公表し、社会に還元するために、情報検索・閲覧・発信システムの充実と図書館に報告書を収蔵すると共にその検証をすることを目標にしています。

4. 本館・分館の取組と工夫

<学習支援のための環境整備>

分館のラーニング・コモンズは、本来、グループ学習の場として活用されることを目的としてつくられました。現在は、新型コロナウイルス感染防止を目的に、個別学習の場として活用できるようレイアウトを変更し、学生の自主的学修を促しています。並行して、それぞれのデスクにPCの設置及び更新を行いました。また、感染収束後を見据えてラーニング・コモンズの場を使ったワークショップ案の検討も行っています。さらに、学生が図書館資料を十分に活用できるように、文献検索演習（1回20名）も実施しています。

<研究活動に即した支援>

機関リポジトリに人間社会学部紀要、看護学研究紀要、心理教育相談室紀要を収蔵しています。また、機関リポジトリの個人登録も始めました。

おわりに

今後、電子書籍の提供サービスやワンストップでの学習支援の提供など、図書館に課せられている課題は山積みです。大学同士が連携し、お互いの情報を共有して学生を始め教職員、学外の利用者にとって利用しやすいものを目指していきましょう。

引用文献

1. 科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会『大学

図書館の整備について：変革する大学にあって求められる大学図書館像（審議のまとめ）』2010.1



図書館 本館全景



本館書架 2F



図書館分館 入口



分館（ラーニングコモンズ）

【“学生ファースト”の視点での後援会と図書館の連携・情報共有について】

福岡県立大学附属図書館 山本信一

はじめに

他の大学でも、後援会の図書館支援の役割は大きいと思われていますが、当大学図書館の場合も大きく連携・情報共有しております。更に本学では各学部学科の教員、学務部、図書館員が参加する図書館運営部会が1～2カ月おきに開催され、その際にも、後援会からの支援・連携状況が毎回報告され、第3者目線による評価・議論がなされます。

1) 後援会寄贈雑誌・図書コーナーの設置

当大学附属図書館本館及び分館には、後援会寄贈雑誌・図書コーナーが設置されています。後援会からの支援としては、“学生ファースト”の視点のもと、通常の図書館員の業務では、選定が難しい年間購読の教養雑誌・娯楽雑誌、学生希望の作品、就職や資格取得関係の図書、スポーツ新聞、定期的なDVD・CDの購入をお願いしています。これらは、アンケート調査やリクエストなどにより、学生のニーズに柔軟に対応しています。そして、教養娯楽雑誌は、図書館内のソファのあるコーナーでリラックスして閲覧できます。利用者の利便性もよく、親近感のある図書館として、利用率アップに大いに貢献しています。

【後援会寄贈の雑誌（2022年度受入中の例）】

書誌 通常標題	
Aera	Trendy
Can cam	アール
Casa brutus : life design magazin	栄養と料理
Cut : international interview mag	オレンジページ
The English journal	教職課程
Fine boys	月刊Moe
Maquia	旅の手帖
National geographic	ダ・ヴィンチ
Nonno : ノンノ	日経woman : 働く女性の情報誌
Ray	日経エンタテインメント
Sweet	ねこ : ねことこころよく暮らす
Switch : seek & find magazine	プチナース
Tarzan	プリプリ
Time	文藝春秋
	ポポロ
	レタスクラブ

2) 後援会からの支援の流れ

後援会に対し、毎年、予算計上をお願いしています。その具体的な流れですが、翌年度購入の後援会雑誌については、

(1) 前年11月頃に、学生にアンケートを実施して、ニーズの変化に対応しながら、司書が起案し、運営部会でチェックや見直しを行っています。

【後援会雑誌アンケート（背景は雑誌コーナー）】



(2) そして、1月頃、後援会の予算要求の際に、新年度に購読希望する雑誌を選定し、年間購読リストを提出します。

(3) 正式には、5月の後援会総会が終了して、①後援会雑誌 ②新聞類 ③視聴覚資料などの購入予算が決定されますので、これを後援会の事務担当者に確認します。

DVD・CDなど、AVコーナーでの視聴覚資料は、前期分は5月、後期分は10月に選定したリストを後援会の事務担当者に提出します。その後、図書館長や図書館運営部会にて報告し、協議・了解を得て、購入発注をします。

【DVD購入のお知らせ】

**後援会新着DVD/CD
本館に入りました!** 2022年 9月

No	タイトル
1	ドライブ・マイ・カー
2	コンフィデンスマンJP：プリンセス編
3	コンフィデンスマンJP：英雄編
4	最後の資金がありません！
5	きのう何食べた？：劇場版
6	マスカレード・ナイト
7	そして、パトンは度された
8	ザ・ファブル：殺さない殺し屋
9	ハニーレモンソーダ
10	でっぴくくなっちゃった赤い子犬 僕はクリフォード
11	ジュラシック・ワールド：炎の王国
12	ミナリ
13	ボス・ベイビー：ファミリー・ミッション
14	まいにち 賢者先生、ときどき まる

CD

1	HAPPYたまには大人をサボっちゃおう? Mixed by D.
---	----------------------------------

CINEMA 図書館内で視聴できます



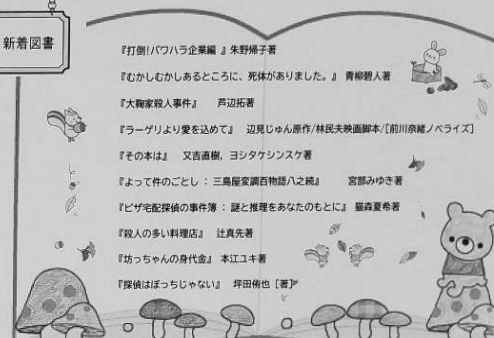
また、図書館と後援会の間では、図書類や雑誌類の毎月の受入れ、蔵書登録、支出費用の緊密な情報共有を行っています。

もちろん、どのような図書・雑誌が入ったかは、図書館内の新刊コーナー、図書館HPの新着図書コーナーで、入館者がチェック出来るようにしています。

図書館の入口には、新刊案内や後援会新着DVD/CD のリスト、「新刊お知らせ」の効果が期待できる魅力的な帯を掲示しています。

10月新着図書

『打倒!バウハラ企業編』朱野榛子著
『むかしむかしあるところに、死体がありました。』青柳巖人著
『大鶴家殺人事件』戸辺拓著
『ラヴリより愛を込めて』辺見じゅん原作/林民夫映画脚本/前川奈緒ノベライズ
『その本は』又吉直樹、ヨシタケシンスケ著
『よって件のことし：三島屋家訓物語八之編』宮部みゆき著
『ピザ宅配探偵の事件簿：謎と推理をあなたのものに』藤森夏希著
『殺人の多い料理店』辻真先著
『坊っちゃん的身代金』本江ユキ著
『探偵はぼっちじゃない』坪田尚也【著】




3) 図書館内の後援会寄贈図書のコーナー

『就職支援・国家試験受験』など、就活・採用試験に役立つ後援会寄贈図書のコーナーが、図書館本館と看護分館に分野別に設置されています。



4) その他学内の後援会購入図書や雑誌

学生支援班の後援会事務所から図書館へ続く談話室等の傍らには、後援会の支援により“学生ファースト”の視点で購入した雑誌や図書が並べられており、親密感が増すよう工夫しています。

(1) 後援会入口の就職支援関係図書



(2) 3号館学生ラウンジの雑誌類他



【ブックリサイクル中の本館エントランス】



(3) 1号館談話室の就職支援関係図書



談話室等は自習室も兼ねて、授業開始前から終了後も長時間使用されており、後援会設置の図書、雑誌類は、気軽に手に取ることが出来ます。また、図書館へのルートの途中にあり、図書館利用率アップにも貢献してくれています。

5) ブックリサイクルのこと

来館者の皆さんが楽しみにしている除籍図書や雑誌（後援会寄贈雑誌は2年間保存）を展示・配布する「ブックリサイクル」の際には、後援会側からも別途併せて提供されています。

「ブックリサイクル」は、例年7月から、大学内に一斉に通知され、本館や分館のエントランスルームで、ブックトラックに並べられます。冊数制限なしで、持ち帰り自由です。

ブックリサイクル実績; 2022.7.5～26現在

		本館	分館
図 書	準備図書冊数	693	82
	残り冊数	489	10
	残り割合%	71%	12%
	持帰り割合%	29%	88%
雑 誌	準備雑誌冊数	422	327
	後援会雑誌冊数	220	112
	残り冊数	371	269
	残り割合%	58%	61%
	持帰り割合%	42%	39%

おわりに

後援会からの図書館支援・貢献に対しては、図書館内のスタッフミーティングや日常業務でも、お互いに周知徹底・情報共有をし、おおいに感謝しております。

現状の、円安下での洋雑誌高騰、データベースの値上げ情勢、電子ジャーナルや電子書籍整備といった厳しい財源事情の環境下で、後援会とのさらなる連携と役割分担、情報共有が引き続き、重要な課題となります。

【注; 掲載写真はいずれも筆者撮影。撮影許可済】

【配置場所統合による図書貸出数の変化について】

宮崎大学附属図書館 寸田 五郎

はじめに

宮崎大学附属図書館本館は、2019 年度に改修工事を行った。その際に図書の配置場所を統合するなど、配置方法を大幅に変更した。配置方法を変更することで利用者の行動が変化し、貸出数等に影響することが想定される。本稿では、配置方法の変更後に、貸出数がどのように変化したかについて述べる。

改修にともなう配置場所統合

2019 年度に行った改修工事の前は、主に学生が利用する貸出可能な図書を、別のフロアにそれぞれ請求記号順に別置して配架していた（表 1）。そのほかに、1986 年度以前に受入れた研究用図書を、3F 集密書庫（改修後は一部を大学会館書庫へ移動）に別置している。いずれも NDC 分類順による配架であり、統合にあたって請求記号の変更は行っていない。

	旧 1 階書庫	旧 2 階開架
配架資料	・ 学生用図書 （～1986 年度） ・ 研究室貸出図書 （1987 年度～）	・ 学生用図書 （1987 年度～）
冊数	約 60,000 冊	約 70,000 冊

表 1 改修工事前の図書配置場所

改修工事の前は、主に旧 2 階開架の図書が利用されていた。このため、ブラウジングによる資料探索の際は、旧 2 階開架の図書が主な対象であり、旧 1 階書庫の図書は、OPAC で検索してヒットしたものを探索する場合を除き、利用されることが少なかった。

改修工事後は、書庫と閲覧室を合わせて「2 階開架」として配架した（図 1）。請求記号の分類番号が 000～459 の図書を書庫に、460～999 の図書を閲覧室に配架した。大型図書については、000～699 の図書を書庫に、700～999 の図書を閲覧室に配架した。文庫・新書コーナーについては改修工事の前から統合していた。

旧 1 階書庫と旧 2 階開架という別々の配置場所に配架されることで、以下のような問題点があった。

- ・ 利用者が配置場所の違いを理解していない場合に、OPAC で検索してヒットした資料にアクセスできない
- ・ 配架ミスが起こりやすい
- ・ セットものが別々の配置場所に配架されることがある

これらの問題点を解消するため、改修工事を機に、配置場所を統合した。それ以外の理由として、研究室から返却された専門書を学生の見つけやすい場所に配置することで、利用を促すという目的があった。

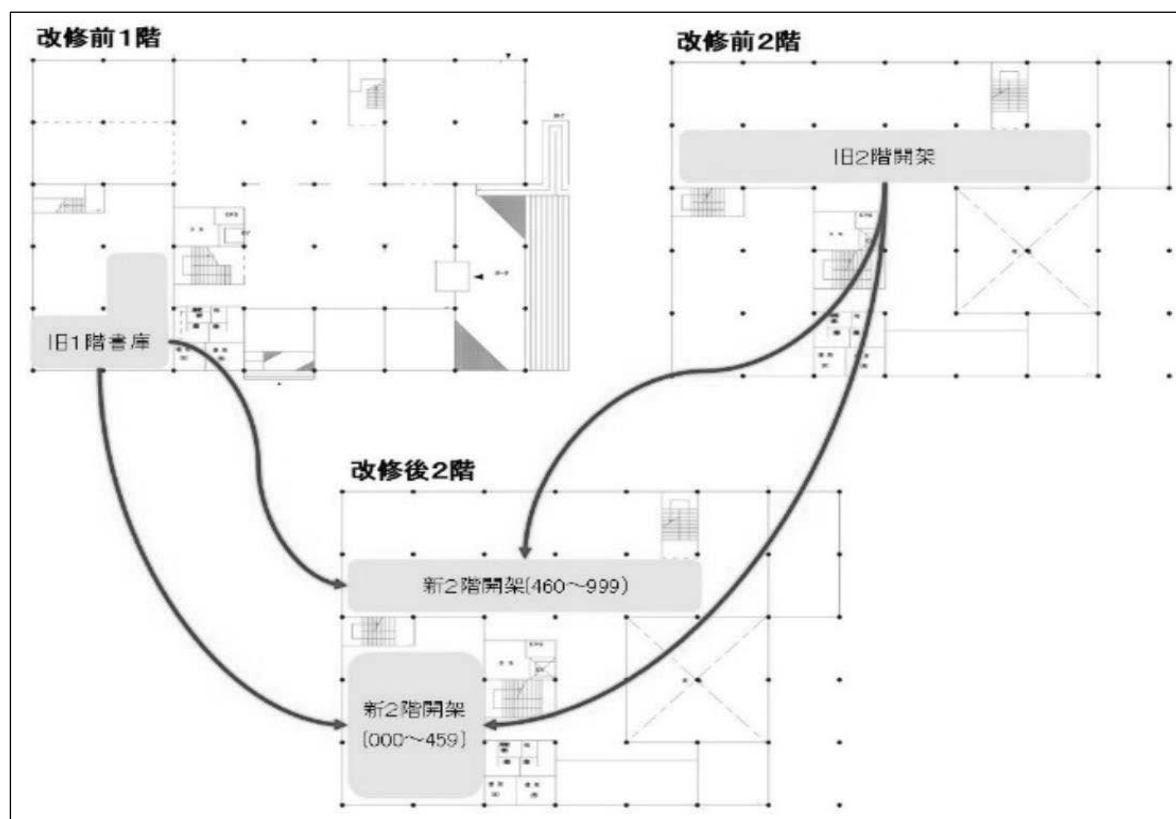


図1 改修工事に伴う配置場所の統合

評価方法と集計方法

(1) 評価方法

貸出数による評価方法として、蔵書貸出率や蔵書回転率を用いる方法がある〔岸田，2019〕。蔵書貸出率や蔵書回転率を用いて評価した例として、〔山田，2003〕や〔星野，渡邊，風巻，原，2008〕などがある。

今回のケースでは、蔵書貸出率や蔵書回転率を用いて評価することには、いくつか問題点があった。まず、改修工事にともなう休館や、コロナ禍に伴う休館・利用制限等の影響により、特に2019～2020年度の入館者数が著しく減少しており、それに伴って貸出数が大幅に減少していることがあげられる。また、蔵書貸出率や蔵書回転率を算出するためには、その時点での配架冊数を把握する必要がある。改修工事に伴う図書移動の際に重複図書等の整理を行っており、年度ごとの配架冊数を正確に集計することができない。そのため、今回は改修後に2階開架に配架されている図書（新2階開架）と、統合前に1階書庫に配架されてい

た図書（旧1階書庫）とで、貸出数の比率を比較することで配置場所統合の影響を評価することとした。

新2階開架には新規受入図書が追加されているのに対し、旧1階書庫の分は新規受入図書が追加されていない。一般的には受入後に年数が経過するごとに貸出数が減少するため、元1階書庫の図書は、統合後の図書より貸出数が減少しやすい。評価の際は、この点に注意する必要がある。

(2) 集計方法

配置場所を統合する際に、図書館システムの所蔵レコードの配置場所コードを変更した。このときに、改修直前に1階書庫に配架されていた図書をリストアップした。これらの図書のうち、新2階開架へ配架された分の延べ貸出数と、新2階開架の延べ貸出数を年度ごとに集計して比較することで、配置場所統合による貸出数への影響を評価する。なお、貸出対象の利用者は学生、教職員のみではなく、一般利用者による貸出も含む。

集計結果と分析

(1) 年度ごとの貸出数の推移

改修後に新2階開架へ配架している図書について、年度ごとに延べ貸出数を集計した（表2）。

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
新2階開架	13,946	7,619	7,417	10,407
うち旧1階書庫	1,335	173	1,753	2,240
割合	9.6%	2.3%	23.6%	21.5%

表2 年度ごとの図書貸出数

2019年度は改修工事のため6月以降に貸出を停止し、10月から翌年3月まで仮設図書館で開館した。仮設図書館には旧2階開架の図書のみを配架した。このため、旧1階書庫の貸出数が大きく減少している。

2020年度は7月中旬にリニューアルオープンしたものの、コロナ禍の影響により、開館時間・日数が例年より少なくなった。このため、全体の貸出数が配置場所統合前より大きく減少しているが、旧1階書庫の貸出数は配置場所統合後に増加している。この傾向は2021年度も継続している。また、新2階開架の貸出数のうち、旧1階書庫の割合は2018年度の9.6%に対し、配置場所統合後の2020年度以降は20%以上で推移している。

(2) 分類ごとの貸出数

NDC第1区分の分類ごとの貸出数の推移を集計した（表3）。特に4～6類のいわゆる理工学書で貸出数が増加している。統合前の2018年度は4～6類の旧1階書庫の貸出数の割合がいずれも10%以下であったのに対し、配置場所統合後は20%以上となっている。貸出数そのものについても、2021年度の4～6類の旧1階書庫の貸出数はいずれも2018年度の2倍以上となっている。

分類	2018 年度		2019 年度		2020 年度		2021 年度	
	新2階開架	うち旧1階書庫	新2階開架	うち旧1階書庫	新2階開架	うち旧1階書庫	新2階開架	うち旧1階書庫
0	377	25 (6.6%)	290	4 (1.4%)	246	26 (10.6%)	460	61 (13.3%)
1	610	82 (13.4%)	310	8 (2.6%)	286	49 (17.1%)	341	62 (18.2%)
2	713	71 (10.0%)	405	21 (5.2%)	444	92 (20.7%)	412	86 (20.9%)
3	2,721	359 (13.2%)	1,256	32 (2.5%)	1,265	306 (24.2%)	1,982	412 (20.8%)
4	3,631	286 (7.9%)	2,172	44 (2.0%)	1,679	434 (25.8%)	2,538	620 (24.4%)
5	2,043	188 (9.2%)	1,279	20 (1.6%)	1,182	308 (26.1%)	1,692	432 (25.5%)
6	1,534	84 (5.5%)	788	22 (2.8%)	699	166 (23.7%)	945	183 (19.4%)
7	372	23 (6.2%)	327	5 (1.5%)	464	83 (17.9%)	360	77 (21.4%)
8	956	118 (12.3%)	319	7 (2.2%)	477	119 (24.9%)	842	147 (17.5%)
9	989	99 (10.0%)	473	10 (2.1%)	675	170 (25.2%)	835	160 (19.2%)
全体	13,946	1,335 (9.6%)	7,619	173 (2.3%)	7,417	1,753 (23.6%)	10,407	2,240 (21.5%)

表3 分類別図書貸出数

考察

(1) 貸出数の変化

旧1階書庫の分は配置場所を統合する直前に配架されていた図書であり、配置場所統合後に新規に受け入れた図書や、研究室から返却された図書を含まない。これに対して、新2階開架の図書は新規受入図書や返却図書が追加されている。一般的に受入直後を除き、時間の経過とともに貸出数が減少すると考えられる。この点を考慮すると、通常であれば旧1階書庫の図書は配置場所統合後に貸出数が減少すると考えられる。

ところが、配置場所統合後の2020年度の旧1階書庫の貸出数は延べ1,753冊、2021年度は延べ2,240冊と、いずれも統合前の2019年度の貸出数延べ1,335冊より増加している。その理由として、配置場所を統合して別置を解消したことにより、別置に起因する問題点が解消され、旧1階書庫の図書の利用が増加したことが考えられる。

ただし、旧1階書庫の分は貸出数が増加しているものの、全体の貸出数は減少している。近年は貸出数が減少傾向にあることや、コロナ禍の影響等が考えられる。配置場所の統合が全体の貸出数増加に寄与していない可能性もあるものの、旧1階書庫の貸出数の割合が統合前と比べて統合後は10%以上増加していることから、配置場所統合により利用者がより適切な図書を選択できるようになったといえる。

(2) 分野による違い

配置場所統合後は、分類番号が000～459の図書を書庫に、460～999の図書を閲覧室に配架している。このため、4～6類の理工学書は、大部分が閲覧室部分へ配架されている。閲覧室は閲覧席があり人通りが多く、書庫に比べてアクセスしやすい場所であるため、閲覧室に配架された図書は貸出数が増加すると考えられる。このことが配置場所統合後の貸出数増加に影響している可能性がある。

この点を検討するため、新2階開架のうち書庫に配架されている分（分類番号が400～459）と、

閲覧室に配架されている分（分類番号が460～499）について貸出数を集計した（表4）。いずれの年度も書庫に配架されている分の貸出数の割合は約43%前後であり、配置場所統合の前後で変化があるとは言えない。このため、配架される場所が書庫と閲覧室と異なることが貸出数に影響しているとは考えにくい。

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
書庫 (000-459)	6,055 (43.4%)	3,340 (43.8%)	3,067 (41.4%)	4,565 (43.9%)
閲覧室 (460-999)	7,891 (56.6%)	4,279 (56.2%)	4,350 (58.6%)	5,842 (56.1%)
2階開架 全体	13,946	7,619	7,417	10,407

表4 書庫・閲覧室別貸出数

さらに表3のうち、4類については書庫と閲覧室の両方にまたがって配架されているため、書庫に配架されている分（400～459）と、閲覧室（460～499）に配架している分それぞれを集計した（表5）。旧2018年度の旧1階書庫の貸出数の割合が書庫に配架されている分が5.4%、閲覧室に配架している分が9.9%であるのに対し、2020年度以降はいずれも25%前後となっている。このように、配置場所統合後に閲覧室と書庫はともに貸出数の割合が増加しており、書庫のほう若干大きく増加している。

一般に、生命科学分野よりも、数学、物理等の分野のほうに陳腐化しにくいため、旧1階書庫の図書の利用がより多くなったと考えられる。今回のケースでは、配架されている場所の違いによる影響はほとんどなく、それよりも配架されている図書の分野の違いによる影響のほうが大きかったと考えられる。

	2018 年度		2019 年度		2020 年度		2021 年度	
	新 2 階 開架	うち旧 1 階 書庫	新 2 階 開架	うち旧 1 階 書庫	新 2 階 開架	うち旧 1 階 書庫	新 2 階 開架	うち旧 1 階 書庫
書庫に配架 (400-459)	1,634	89(5.4%)	1,079	19(1.8%)	826	198(24.0%)	1,370	317(23.1%)
閲覧室に配架 (460-499)	1,997	197(9.9%)	1,093	25(2.3%)	853	234(27.4%)	1,168	303(25.9%)

表 5 書庫・閲覧室別貸出数（4 類のみ）

（3）集密書架の影響

配置場所統合前は、旧 1 階書庫の大部分が電動集密書架に配架されていて、利用者がアクセスしづらい場所であった。このことが、配置場所統合後に旧 1 階書庫の図書の貸出数が増加した原因となっていることも考えられる。この点を検討するため、旧 1 階書庫の集密書架に配架されていた分について貸出数を集計した（表 6）。

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
旧 1 階書庫	1,335	173	1,753	2,240
うち集密書架	1,215	160	1,558	2,046
割合	91.0%	92.5%	88.9%	91.3%

表 6 集密書架の貸出数

いずれの年度も集密書架に配架されていた分の貸出数の割合は 90%前後であり、配置場所統合の前後で変化は見られない。このため、今回のケースでは集密書架に配架することで貸出数に影響があったとは考えにくい。もともと旧 1 階書庫全体がアクセスしづらい場所であったため、その一部分が集密書架であっても影響がなかったと考えられる。

まとめ

配置場所統合前後の貸出数を比較することで、配置方法の変更が貸出数に影響を与えることがわ

かった。特に、分野によっては別置を行うと貸出数が減少する可能性が示唆される。一方で、配置場所が同じで書架の位置の違いや集密書架による影響は、今回のケースでは確認できなかった。

蔵書数や蔵書構成、利用者層等は個々の図書館により異なるため、今回の結果がただちに他館で適用できるとは限らない。しかし、このような事例が報告されると、増改築や書架増設等にとまない配置方法変更を検討する際に役立てることができると考えられる。

参考文献

岸田和明. (2019). 図書館利用データの解析とその活用. 情報の科学と技術, 69(3), 106-110.

山田周治. (2003). 館外貸出データに見る利用傾向: 蔵書回転率の分析. 大学図書館研究, 69, 27-33.

星野雅英, 渡邊真由美, 風巻利夫, 原香寿子. (2008). 東京大学総合図書館における入館・貸出統計データ分析の試みー中央図書館としての役割を考えるために. 大学図書館研究, 82, 1-11.

図 書 館 紹 介

【鹿児島大学附属図書館桜ヶ丘分館】

はじめに

昭和 52 年竣工の鹿児島大学附属図書館桜ヶ丘分館は、全面改修を終えて、令和 4 年 7 月 1 日にリニューアルオープンしました。

今回の改修では、学生支援環境の機能を強化するため、1 階にはアクティブな空間としてラーニングコモンズとグループ学習室を、2 階は開架書架、窓側にカウンター席、3 階には集密書架、セミナールームを整備するとともに、Wifi 環境の整備、PC・タブレット等の電子機器を利用しやすい電源配置を行い、様々なアクティブラーニングに対応する環境を整えました。さらに以前から要望が多かった 24 時間開館に対応するシステムも導入しました。

また、1 階の什器は全て可動式となっており、什器を移動すれば 1 階全体を広く使うことができるようにしています。これにより、災害等緊急時に場の提供という形で他部局等と連携を図ることも可能となり、様々なシチュエーションでの活用が期待される施設となりました。

施設概要

構造：鉄筋コンクリート 3 階建て

面積：2,007 m²

総座席数：202 席

外観



1F ラーニングコモンズ

利用者がコミュニケーションを取りながらアクティブに学習するスペースで、可動式の机・椅子を配置しています。一面ガラス窓で緑豊かな景色を眺めながら学習できます。



1F グループ学習室

可動式の間仕切り壁があり、閉めれば 2 部屋、開ければ 1 部屋でグループでの学習ができます。グループ学習室として利用しない場合は、個別学習でも利用できます。



1F エントランスホール

きのこのような円形のエントランスホールが目を引きます。自動販売機、テーブルや椅子が置いてあり勉強の合間にリフレッシュする空間です。



2F カウンター席

全ての席に電源が配備されており、また席ごとの間隔も広く、人気のスペースです。



3F 閲覧室

図書・雑誌等を閲覧するための座席です。閲覧机には全席に電源を設置しています。



3F セミナールーム

スクリーンやプロジェクターを設置しており、セミナー等に利用できます。



おわりに

桜ヶ丘分館は新しく生まれ変わりました。利用者のニーズに応え、サービス面でもお褒めの言葉をいただけるよう努力していきます。

【九州大学附属図書館医学図書館】

はじめに

2022年10月6日(木)に医学図書館がリニューアルオープンしました。新しい図書館は、時代に合わせてスペースを再配置し、廊下の壁をガラスにするなど、長時間学習することの多い当キャンパスの学生にとって、明るく快適な学習空間に仕上がりました。

また、外国雑誌センター館として機能している当館は、膨大な外国雑誌を所蔵していることもあり、近年は配架場所不足に悩んでいましたが、本改修では、2階と3階に大規模な集密書架を導入し、全ての資料を分かりやすく整理して提供できるようになりました。

その他、アクティブラーニンググループの新設や、貴重書展示室の整備なども行い、学内の学習・教育・研究活動を支えるとともに、社会に開かれた図書館を目指しています。

施設概要

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て

面積：4,216 m²

收藏可能冊数：約 48 万冊

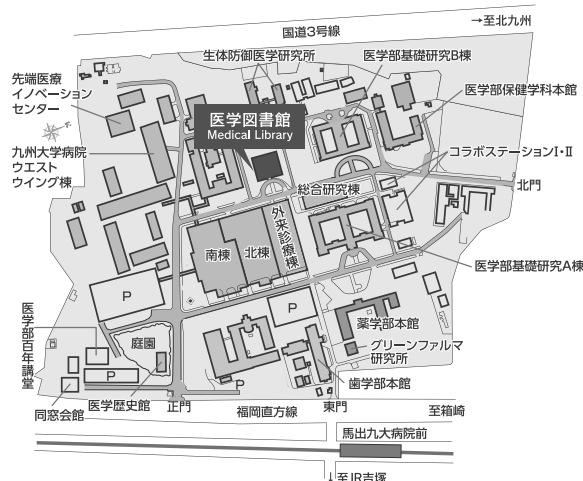
座席数：388 席

圖書館外觀

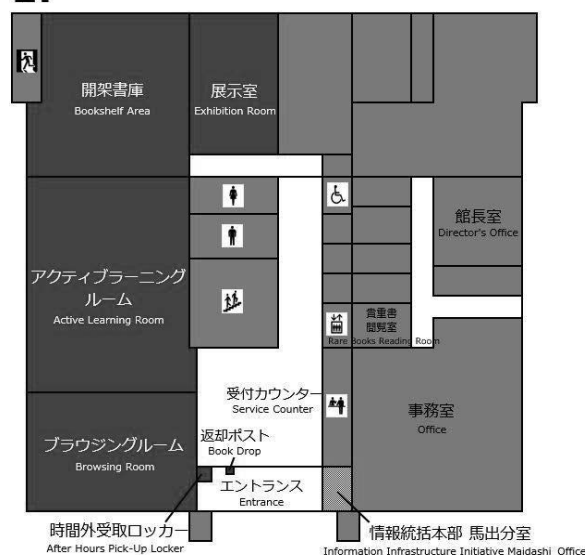
九州大学病院と研究棟が並ぶアカデミックゾーンの間に位置することから、キャンパスに所属する学生・教職員だけでなく、病院利用者や地域住民もくつろげる外構デザインになっています。建物は、2階と3階の正面にカーテンウォールを採用し、ひさは透明ガラスに中まで続くルーバーを設置することで透明感を演出しています。

学内外の多くの利用者に親しみを持って利用してもらうため、以前はなかった「医学図書館」の文字を正面の壁に掲げています。また、外壁デザインは、改修前と変わらず白を基調としていますが、1 階部分の外壁のみ、レンガ調

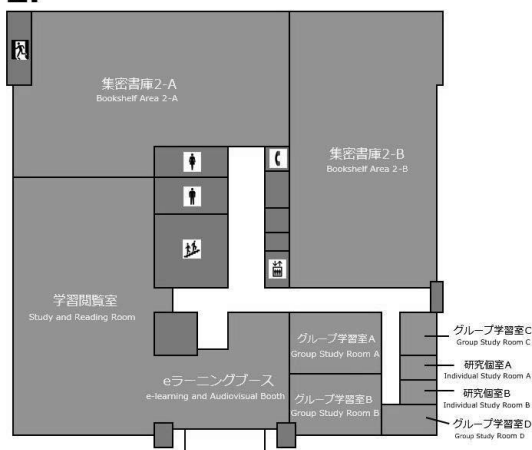
にして、キャンパス内の他の建物との調和も図っています。

フロアマップ^o

1F



2F



3F



館内案内

【1F エントランス】

天井にカウンター家具と色調を合わせたルーバーを設置し、廊下まで続く木目調のおちついた雰囲気の受付カウンターです。



【1F ブラウジングルーム】

館内で唯一飲食が可能なブラウジングルームは、照明や床、家具をカフェ風にデザインしています。通常の学習空間と雰囲気を変えることで学習の合間にリフレッシュできるよう工夫しています。



【1F アクティブラーニングルーム】

以前は、学習閲覧室として利用していたスペースをアクティブラーニングルームとして新設しました。グループワークやセミナーなどが自由に行えるよう動かせる机や椅子を配置し、プレゼン等にも利用できるモニター付きのソファ一席や電動スクリーン、プロジェクターを設置しています。



【1F 展示室】

3階にあった展示室を1階に移すことで、当館が所蔵する貴重な資料を広く一般に公開することができるようになりました。現在、貴重書展示会「17世紀の日欧交流における医学と医療」を開催(2023年3月31日まで)しており、グランドオープンを機に公開した中村哲医師

のブロンズ像「アフガンに生きた侍」（上床利秋氏作）や北原白秋自筆の「医学部歯科口腔外科教室歌」なども常設展示しています。



（中村哲医師ブロンズ像「アフガンに生きた侍」）

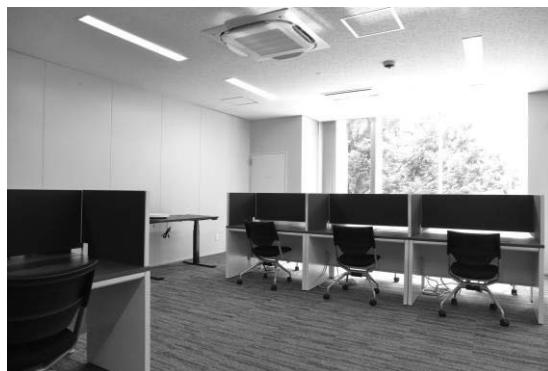
【2F 3F 学習閲覧室】

2 階と 3 階の学習閲覧室は、壁を全て取り外して、見通しのいい開放的な学習空間を実現しました。閑散期には、利用者の人数に応じて間仕切り出来るように可動式の壁も設置しており、省エネルギーについても考慮しています。



【2F e ラーニングブース】

机をパーテーションで区切り、落ち着いて動画学習や電子ジャーナルの閲覧ができるようになっています。



【2F グループ学習室】

4 人から 20 人程度のグループで利用できる学習室を 4 部屋整備しました。利用は、本学学生と教職員が対象で、事前予約が必要です。各部屋には、大型ディスプレイやホワイトボードを設置しています。



【3F 会議室】

20 人規模の会議、講演会、学位審査などを行います。利用は、本学教職員が対象で、事前予約が必要です。電動スクリーンと液晶プロジェクター、ホワイトボードを設置しています。



【開架書庫】

約2万冊の利用頻度の高い学習用図書を配架しています。書架は、改修前に使用していたスチール書架を再利用しており、カウンターデザインに合わせた側板のみ新調しています。



【2F 3F 集密書庫】

書庫スペースを広げることなく、最大48万冊の資料が収容できるように集密書架を設置しました。ずらりと並ぶ集密書架エリアは、倉庫的な空間になりがちですが、パネルデザインやサインを工夫して、親しみやすい雰囲気になるようにしました。運用後の管理コストも考慮して、全て、ハンドル式の移動書架を採用しています。



【貴重書庫】

当館が所蔵する貴重なコレクションを適切な温度と湿度に保つために、通常の書庫にはない調湿壁を導入しています。



終わりに

医学図書館の建物は、1981年に新築・竣工され、以来、情報化時代に合わせてサービスを拡大し、多くの学生の学習の場として活用されてきました。しかし、40年間使い古された施設では、施設・設備の故障や配架場所不足など問題が多く、利用者の方々に度々不便をかけて参りました。

そこでこの度の改修工事に至ったわけですが、本工事では老朽改善のみならず、さまざまな課題を解決すべく工夫を凝らし、何より利用者の快適性を第一に考慮し完成いたしました。それも図書館職員や施設部担当職員、工事関係業者全員が一丸となってよりよい図書館を築くべく、アイデアや力を出し合って実現したものだと思います。

多くの医療人材の学びの場として、愛されてきた当館の歴史は長く、100周年を迎える本学附属図書館の発祥は、ここ病院キャンパスだと言われています。私達職員は、そのような伝統ある図書館で働くことを誇りに思いつつ、さらなるサービスの改善、環境の整備を行っていこうと思っています。

また、長い歴史の中で受け継がれてきた貴重な資料の展示・公開などを通して、地域社会の生涯学習の場としても機能していくことも願っています。

【佐賀大学附属図書館医学分館】

はじめに

佐賀大学附属図書館医学分館が令和4年4月21日（木）にリニューアルオープンしました。昭和55年、佐賀医科大学附属図書館として建設され、40年以上が経過し、施設、設備の老朽化対策や機能改善の機運が高まったことから、令和3年度に老朽化対策、省エネ化、図書館機能の強化を中心に改修工事が行われました。

改修のポイントは、「省エネ化」と「図書館機能の強化」の二つで、館内の照明にLEDライトを採用、空調方式の変更などが行われました。

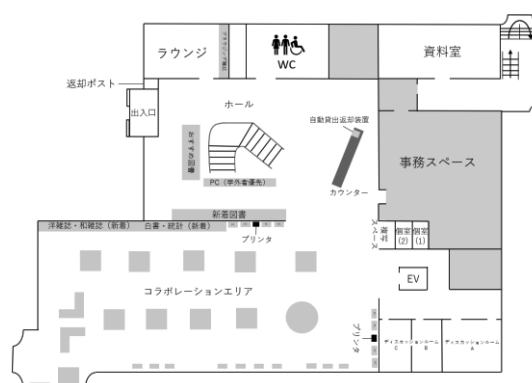
また、話をしながら学習するフロアとして、コラボレーションエリア、ディスカッションエリアなどを整備し、アクティブラーニングの推進など、多様な学習スタイルに対応したオープンスペースを備えています。

施設概要

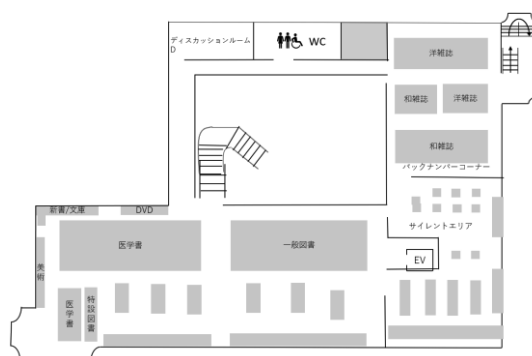
- 構造：鉄筋コンクリート造2階建て
- 面積：延べ床面積1,769 m²
- 総座席数：244 席
- 収容可能冊数：118,306 冊



【1F フロアマップ】



【2F フロアマップ】



コラボレーションエリア

机と椅子は、すべて可動式で多様な利用が可能であり、話をしながら学習するアクティブラーニングを推進しています。

また、広大なスペースのため、研修・研究会も開催可能であるとともに、非常用電源を備え、DMAT 参集拠点への活用・医療物資の保管場所としても利用できます。





ディスカッションルーム

最大 16 人対応が 1 部屋、最大 8 人対応が 3 部屋あり、机と椅子は、すべて可動式で多様な利用が可能です。モニターやホワイトボードも備え付けており、視聴覚資料や WEB ミーティングにも利用できます。



個室

一人で静かに学習や調べ物をするスペースです。オンライン授業や DVD 資料の視聴にも利用できます。



ラウンジ

学習や調べ物で疲れた時にリフレッシュする部屋です。軽雑誌等も揃えています。



ホール

玄関ホールに新書・学生選書・図書館職員が選書した図書を配架しています。また近くにソファを設置しているので、リフレッシュしながら図書の閲覧もできます。



資料室

購入年が古かったり、利用の少ない図書や雑誌を 7 段の集密書架にまとめ、書架スペースを

増加しました。



開架書架（図書）

利用の少ない図書を資料室に移したことで、利用の多い本、新しい本を探しやすくなりました。



閲覧席

図書・雑誌等を閲覧・学習するためのスペースです。窓側には、カウンター席を設け、緑の景色を眺めることができます。



サイレントルーム

新たに防音ガラスを採用したサイレントエリアを整備しています。また、閲覧席との壁をガラス張りにすることで、見通しがよく広々とした空間を形成し、学びの可視化をしています。こちらにも窓側にカウンター席を設け、緑の景色を眺めることができます。



バックナンバーコーナー

最新号を除いたすべての和雑誌・洋雑誌をワンプフロアにまとめ、資料を探しやすくしました。



終わりに

他にも、窓側に高さ調節が可能な机を備えたり、有線・無線 LAN も完備しています。資料保存の観点から除湿器・エアコンを設置、湿度管理が可能と様々な工夫を凝らしました。

学生・教職員・地域の医療者が学び、憩う、愛される図書館を目指します。

【別府大学附属図書館】

はじめに

学校法人別府大学は、湯治場の面影を色濃く残す温泉都市別府に立地する大学で、キャンパスからは美しい別府湾を臨むことができます。母体である豊州女学校は1908年（明治41年）に創設されました。現在では、大学院、大学、短期大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、保育園を有する総合的な学園となっています。

この度、館内全面改修を2021年、2022年の2期に渡り行いましたので、ご紹介いたします。

【改修のポイント】

＊各階にコンセプトを持たせました。

1階「人が集うラウンジ、知の入り口」

2階「知を想像する場所、多様な学習スタイルに対応可能な空間」（アクティブフロア）

3階「知と向き合う場所、自分と向き合うことのできる穏やかな空間」（ラーニングフロア）

利用者は自分の学習スタイルに合わせ、図書館を自由に利用する事ができます。

＊多くの方に利用してもらうために、全席コンセントとUSBコンセントを完備。機能的で便利な空間を目指しました。

＊あえて、照明や置物の装飾品にこだわり、従来の図書館にはない、カフェやラウンジの雰囲気を作り出しました。利用者はリラックスして図書館を利用する事ができます。

【施工概要】

構造：鉄筋コンクリート造6階建て

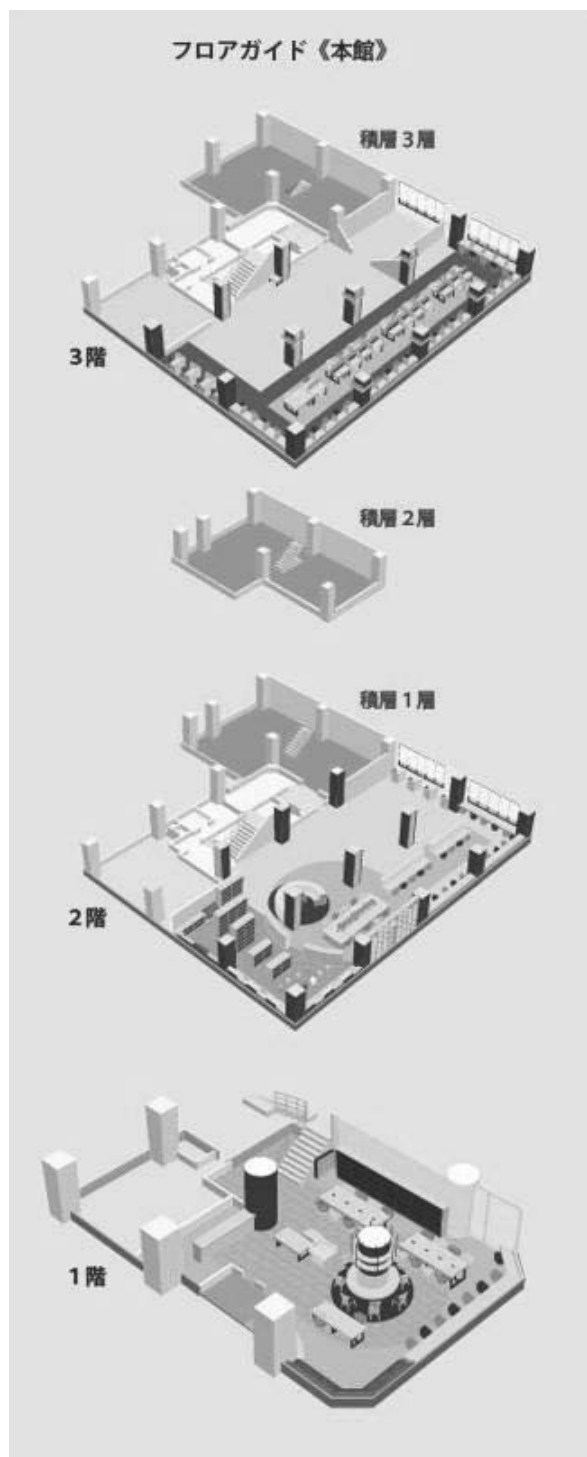
（図書館は1階～3階 4階・5階の一部書庫）

面積：2121 m²

総座席数：201席

収容可能冊数：22.9万冊

【フロアのご案内】



【1階ライブラリーラウンジ】

壁面のガラス

図書館壁面のガラスにデザインを施し、一目で図書館である事が分かるようにしました。



正面玄関

正面玄関入口のBDSを取り外す事により、スッキリ広くなりました。出口にはカウンと盗難防止のためBDSがありますが、正面から目立たないようにしています。



展示スペース

1階正面に、展示スペースを設けました。定期的に展示を入れ替えるようにしています。



雑誌架とテーブル

展示スペースの奥に雑誌架を設けました。表紙が見えるように配架する事で、手に取りやすくなり、利用も増えました。

階段下の雑誌架は、以前より使用していた図書館什器を再利用したものです。

大きなメインテーブルは目的に応じて、移動する事ができます。照明や装飾類が、カフェの雰囲気を醸し出しています。



大きな柱

図書館の大黒柱として目立っていた柱。その柱を活かし、周辺にカウンターテーブルを配置し、座席を確保しました。



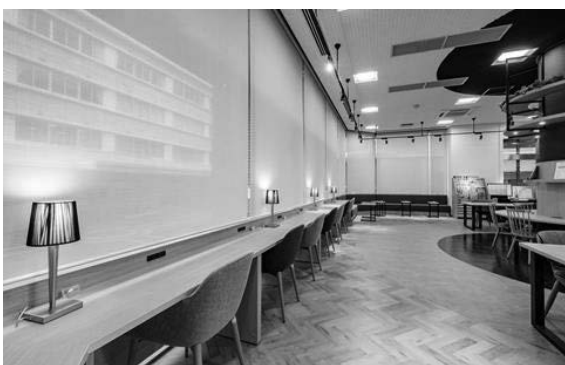
ソファ

窓辺のソファは生地や色にもこだわりました。日当たりも良く、新聞を読む利用者の姿をよく見かけます。



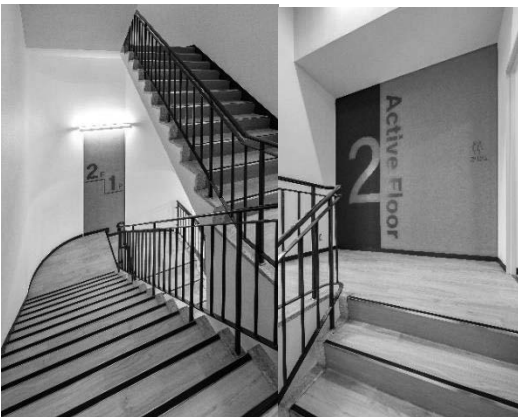
1階カウンターテーブル

窓辺にカウンターテーブルを配置。ラウンジで寛ぐように図書館を利用できます。



階段

薄暗かった階段も、大きくカラフルな文字で見やすく、スタイリッシュに生まれ変わりました。



【2階アクティブフロア】

検索コーナー

2階正面に検索コーナーを設けました。分かりやすく、動線もよくなったとの声を聞きます。



2階メインテーブル

検索コーナー奥に、まるで都心のカフェのようなメインテーブルを設けました。モダンな照明やフェイクグリーン、奥の棚には様々な置物があります。2階の象徴的な場所となりました。



視聴覚ブース

視聴覚ブースを2席設けました。利用者はカウンターで申し込みの上、利用できます。

児童書コーナー

短期大学部初等教育科では、令和3年度入学生から小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の免許・資格に加え、「認定絵本土」の資格を取得できるようになりました。このコーナーには、実際に読み聞かせ等を実施できるスペースがあります。



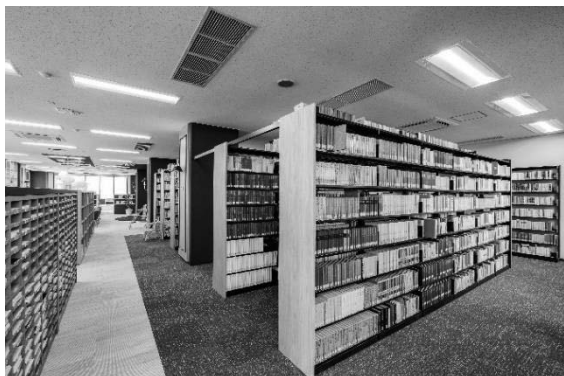
2階カウンターテーブル

高台にあるため、景色を見ながら学習できます。



書架

書架は、2階・3階共にすべて再利用しました。棚板は以前のものを使用し、周りを化粧直ししています。コスト削減にもなりました。左の雑誌架も同様です。



【3階ラーニングフロアー】

メインテーブル

3階のメインテーブルは個別空間となるように仕切りを設けています。ただし、正面はフェイクグリーンで仕切り、圧迫感を与えないように工夫しています。



3階カウンターテーブル

3階のカウンターテーブルは美しい別府湾を眺めながら学習する事ができます。



個別ブース

一人の空間を好む学生のために、個別ブースも準備しました。学生に人気の席です。



検索コーナー

3階にも検索コーナーを設けました。サインも大きく分かりやすいと評判です。

【「未来へ」展】

2020年3月1階の改修が終わり、Library Lounge オープンと共に、「未来へ」と題した企画展示を開催しました。翌年の2階・3階改修後もオープニング記念として、第2回「未来へ」展を開催しました。別府大学や、創設者佐藤義詮先生に関する資料も展示。利用者にも楽しんで頂けるように、参加型の企画も準備し、くじ引きも行いました。

図書館の改修と図書館運営の工夫により、入館者数も1.5倍に増加。利用者から心地よい空間になったとの声を多く聞くことができます。



第1回ポスター



第2回ポスター

【リニューアル記念イベント】

新しくなった1階ライブラirieラウンジで、リニューアルを記念したイベントも行いました。様々なアーティストをお招きし、去年は全3夜でお送りしました。今年は朗読と音楽を融合させたコンサートを開催し、YouTubeで生配信も行いました。



おわりに

創設者である佐藤義詮先生の「真理はわれらを自由にする」という建学精神の言葉を忘れず、今後もその精神に従って、常に伸びやかに自由な発想で変化し続ける図書館でありたいと思います。



建学の精神が刻まれた石碑

加盟館ニュース（五十音順）

【大分大学】

コロナ禍における開館時間等について

1月の感染拡大の際、図書館は1月7日～1月16日、医学図書館は1月8日～1月16日の間、臨時閉館した。その後、短縮開館の期間を経て、令和4年4月から通常どりの開館時間とした（医学図書館の無人入退館システムによる時間外利用は休止を継続）。

4月から両館で図書館ツアーを再開したほか、10月から旦野原図書館ではラーニング・コモンズ等における会話利用を再開する等、通常サービスを段階的に再開している。

図書館利用案内

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に続き、対面の新生ガイダンスを中止した。代替措置として、図書館の利用案内動画をホームページで公開し、内容を随時更新している。

講習会

レポートの書き方に関する講習会を5月と11月に対面及びオンラインで開催したほか、データベース等の利用講習会動画を作成してMoodle、ホームページ等で公開している。

利用講習会動画は適宜内容を更新しており、令和4年度の更新に当たっては、学生への経済的支援・大学運営の就業体験の一環として実施された大分大学オンキャンパス・ジョブ制度を活用し、学生協働にて実施した。

企画展示

4月は、展示タイトル「入学おめでとう2022～新生活に役立つ本～」として、新生に向けて大分県を紹介する図書や学習方法に関する資料を展示した。6月は、「分大図書館完全攻略ガイド」として、図書館の利用方法や各コーナーの資料を紹介する展示を行った。9月は、「門に入る」とし

て、様々なジャンルの入門的な内容の書籍の展示を行った。このほか、オープンアクセスウィークに併せた展示等の時宜に合った展示を行っている。

医学図書館では、1月に「最新の資料を活用して国家試験の対策をしてみませんか」として、医師国家試験等の対策用資料や定評のある教科書を展示した。

9月の企画展示



オープンアクセス方針の策定

「大分大学オープンアクセス方針（令和4年1月19日）」及び「大分大学オープンアクセス方針実施要領（令和4年3月17日）」を策定し、本学教職員の研究成果（学術論文等）のオープンアクセス化を推進している。

大分大学貴重資料デジタルアーカイブ

大分大学学術情報拠点（図書館）が所蔵する貴重資料の一部を、大分大学貴重資料デジタルアーカイブとして令和4年10月に公開した。

江戸時代を中心に、室町時代から明治時代までに製作された、先哲資料、絵図、古文書類等119点を公開している。

リユース Book コーナーの設置

退職教員や一般の方から寄せられた使用済み

の書籍（専門書・学習支援用）及び、図書館で保存年限が過ぎた一般雑誌を有効活用するため、教

職員・学生に無償提供する「リユース Book コーナー」を3月23日～5月13日の期間に設置した。

【鹿児島大学】

図書館サポーター企画「謎解きゲーム」を実施

8月6日（土）、7日（日）の2日間、オープンキャンパスの対面企画として、図書館サポーター考案の「謎解き×クロスワード」を解きながら館内を見学してもらうもので、事前申込制であったが、2日間で170名の高校生や保護者等が参加した。

参加者は館内の各所にあるヒントを頼りにクロスワードを埋めながら謎を解き、ゲームクリアを目指した。館内各所で参加者それぞれが悩みつつ懸命に謎を解く姿が印象的で、また、謎解きサポートデスクでは、図書館サポーターが参加者を励ましながらヒントを出す場面も多く見受けられた。

参加者には、図書館サポーターと職員が作成したオリジナル葉やブックカバー等の参加賞や景品のプレゼントがあり、終了後のアンケートでは、「とても楽しかったです」、「静かで雰囲気の良い図書館だった」、「スタッフさんや、サポーターさんに親切にいただき、ありがたかったです」といった声が多くあった。オープンキャンパス参加者と図書館サポーター、大学図書館を繋ぐ有意義な機会となった。



入口前の看板



サポーターと答え合わせをする参加者

【鹿屋体育大学附属図書館】

1. 学外者の利用再開について

本学では、昨年度から引き続き、入館時の体温測定、手指消毒、マスク着用、アルコールティッシュによる消毒、密を作らず、換気の実施など新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を継続し学内利用者に限定して開館してきたが、調査研究を目的とした学外利用者について、11月14日から来館利用できるようにした。

2. 館内の飾り

季節、催事（七夕、クリスマス等）に合わせ受付カウンター周りなど職員による飾りつけを行い、コロナ禍の中であっても、親しみやすく、入りやすい雰囲気を作るようにした。



3. 企画展示

専門図書以外の読書の参考となる「芥川賞・直木賞」、「本屋大賞」等、関連図書を購入、展示するなど企画展示を行った。また、「レポート・論文の書き方」の企画展示も行った。



4. 場の提供

学生の自主性、企画力、創造性を養うとともに、キャンパスライフの充実・活性化を図ることを目的に学生の叶えたいプロジェクトや実現したい挑戦に必要な支援を行う「学生挑戦プロジェクト」において、令和4年度の企画として、SDGsに関する書籍展示が採用され、図書館1階閲覧室において、展示公開された。



【北九州学術研究都市学術情報センター】

1. リフレッシュエリアの整備

閲覧席を移設し、リフレッシュコーナーを新設した。フロアライトの設置やカーペットを張り替え、柔らかな雰囲気を作り、また、ファミレス席も設け、寛げる空間にした。



Before



After



2. 「ウィキペディアで学ぶ情報リテラシー」開催

7月17日（日）に、元ウィキペディア日本語版管理者の海瀬氏を講師にお迎えし、「ウィキペディアで学ぶ情報リテラシー」を開催した。ウィキペディアを執筆することを例として、SNS など、個人がインターネット上に情報を発信する際の注意点やマナー、また、いかに適切な情報を探し出すかなど、正しく情報を扱う知識などを学んだ。



3. 謎解きゲーム「消えたがっちゃんを探せ！」

11月13日（日）に、北九州学術研究都市のイベント「ひびきの祭」の中で、当図書室は謎解き

ゲームを開催した。

当図書室の非公式キャラクター、カモの「がっちゃん」が何者かにさらわれたという設定で、参加者は建物内1階～3階までを順に巡り、図書室に関する、様々な謎を解いて囚われたがっちゃんの場所を探し当てゴールとなる。

問題用紙配布数は231枚。家族での参加も多く、参加者は約500名に上り、盛況のうちに終えることができた。

アンケートでは、「また参加したい」「親子協力できて楽しかった」「難しかった」「続けて欲しい」など、さまざまな声が寄せられた。



4. 特集コーナー

不定期で特集コーナーを設置している。

本年度は「新入生におすすめの本」「レポートや発表に役立つ本」「見るだけで癒されるビジュアルブック」など、学生生活に役立つ図書を特集した。



5. ヒビキノシネマ

年6回開催のDVD上映会「ヒビキノシネマ」が、本年20回目を迎えた。

感染症拡大で、参加者も減少していたが、徐々に戻りつつある。

【上映作品】

- Vol.16 (4月)「すれ違いのダイアリーズ」
Vol.17 (6月)「英国王のスピーチ」
Vol.18 (8月)「ジュマンジ」
Vol.19 (10月)「ビッグ・リトル・ファーム」
Vol.20 (12月)「ラスト・クリスマス」
Vol.21 (2月)「きっと、うまくいく」



【九州工業大学】

藤田哲也コレクションの新設

令和4年5月に、戸畑本館1階にて「藤田哲也コレクション」を新設し、関連資料の展示を行っている。

(1) 藤田哲也博士(1920-1998)について

福岡県企救郡曾根村(現北九州市小倉南区中曾根)に生まれ、明治専門学校(現九州工業大学)機械工学科を卒業後、同校物理学研究助手、助教授を経て、1953年東京大学にて理学博士号を取得し渡米。その後、シカゴ大学気象学教授として、竜巻の規模を示す藤田スケール(Fスケール)の考案やダウンバーストの発見などにより、災害や航空機事故の防止に尽力し、多くの功績を残した。

(2) コレクション概要

このコレクションでは、当館が所蔵する気象学及び藤田博士関連資料に加え、「藤田哲也博士記念会」がシカゴ大学の藤田強風研究室から持ち帰った遺品のうち、当館に寄贈された図書406点を整理・収集した貴重な資料を展示している。また、資料の一部はデジタル化し本学リポジトリにて公開している。

図書館HP「藤田哲也コレクション」特設ページ:

<https://www.lib.kyutech.ac.jp/library/node/1470>

※令和4年11月現在、学外利用者の入館・閲覧も可能



ICタグ(RFID)の導入

令和4年2月から、ICタグを本館・分館ともに導入した。本館はこれまで、バーコード貼付資料に加え、OCRによる読取が必要な資料も混在しており、蔵書点検や貸出業務に手間と予算がかかっていたため、中長期的な資料管理と業務の効率化を図る目的で導入に踏み切った。

(1) IC化への道のり

当館の蔵書は、令和4年3月31日現在で本館450,370冊、分館151,213冊ある。そのため、5ヵ年計画で貼り付け作業を実施している。新規受け入れ資料は通常の装備に加えて実施し、所蔵資料は、主に春と夏の休業期間中に外部委託して集中的に実施を進めている。また、貼付作業完了時に対応できるよう次期システムおよび機器のリリース時には、IC化に対応した仕様に変更する必要がある。

(2) IC 化のメリットと課題

まだ IC タグ貼付作業の途中でありシステム未対応のため、限定的ではあるが、現時点での所感として蔵書点検の時間短縮は大きなメリットであると言える。一冊一冊資料を取り出してデータを読み込む必要はなく、書架の前で専用のハンディリーダーをかざせば、1 分間に約 6,000 冊程度の読み込みが可能のため、これまで夜通し外部委託して行っていた作業を日中職員で実施することが可能となった。

一方で、課題もいくつか見えてきた。一般的に

金属製品に IC タグを貼付すると、リーダーから放射される電波が金属に反射して IC タグの応答波が検知できない。そのため、箔押しされた表紙やページのある資料の書き込み・読み込みができない。金属対応タグも販売されているが、通常のタグと比べ価格が高く、積層性の観点から性能が安定していないため、これらの資料は別途処理が必要になる。

また、図書館に所蔵している資料だけでなく、研究室貸出中の資料についてどのように貼付作業を進めていくかも、今後の課題である。

【九州大学附属図書館】

1. 武谷棕亭生誕 200 年記念展示・講演会の開催

武谷棕亭生誕 200 年記念 大阪大学・九州大学巡回展「緒方洪庵と武谷棕亭」(大阪会場：令和 2 年 11 月 17 日(火)～29 日(日)、九州会場：令和 4 年 4 月 21 日(木)～6 月 19 日(日))の関連企画として、同展示会を電子展示へ再構成して公開し(令和 4 年 1 月 11 日(火)～)、あわせて、小展示「武谷文庫の紹介－九州大学と武谷家」(令和 4 年 1 月 11 日(火)～2 月 16 日(水))、講演会「武谷棕亭の足跡－武谷文庫からみる幕末福岡藩の医事」(令和 4 年 1 月 26 日(水))を開催しました。



本学では、武谷家との寄託契約にもとづき、現在中央図書館で所蔵している福岡の医家・武谷家の史料群「武谷文庫」の調査・整理・研究を進め

ています。また、福岡市博物館市史編さん室の協力により、武谷文庫の一部を電子化し、貴重資料デジタルアーカイブ上で公開しました。今回の企画は、これらの成果を活用したものです。

講演会では、武谷文庫に遺された史料をもとに、棕亭が幕末福岡藩の医事にどのようにかわり、近代化の過程でどのような役割を担ったのかについて、展示監修の赤司友徳先生(九州大学大学文書館)にご講演いただきました。

2. ネーミングライツ契約締結・開設記念式典の実施

本学は Sky 株式会社(東京本社：東京都港区/大阪本社：大阪市淀川区)とネーミングライツに関する契約を締結し、中央図書館 4 階アクティブラーニングスペースを「Sky Cute.Commons (スカイ きゅうとコモンズ)」、理系図書館 1 階エントランスプラザを「Sky Q-Bridge (スカイ キューブリッジ)」として開設しました。

これを記念し、令和 4 年 8 月 23 日(火)に中央図書館にて記念式典を執り行い、Sky 株式会社からは寺下執行役員、平井営業部課長、本学からは岩田副学長・附属図書館長、富浦附属図書館副館長・理系図書館長が出席しました。



セレモニーの後は中央図書館、理系図書館の見学を実施しました。

今後愛称が親しまれるよう定着に努め、引き続き学習・研究環境の向上、施設の有効活用等に取り組んでまいります。

【熊本大学】

第 14 回熊本大学東光原文学賞・受賞作発表(1/14)

第 14 回熊本大学東光原文学賞の受賞作品は、令和 4 年 1 月 14 日開催の表彰式において大賞 1 篇、優秀賞 3 篇を発表した。

大賞は「群青」、優秀賞は、「傷口」、「海辺の光—ある作家へ—」、「春が来るまで」。受賞作品は、令和 4 年 3 月刊行の『第 14 回熊本大学東光原文学賞作品集』（冊子）で読むことができ、過去の受賞作はすべて図書館ホームページで公開している。

（https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/tokogen_award）

3. ソウル大学校との職員交流プログラム

本学はパートナー校であるソウル大学校と、年に 1 度のジョイントシンポジウム SNU-KYUSHU JOINT SYMPOSIUM を開催しています。昨年度まではコロナ禍ということもありオンライン形式のみの開催でしたが、今年はソウル大学校から多数の参加者が国境を越えて本学伊都キャンパスに集う念願のオンサイト開催となりました。

附属図書館では本シンポジウムの一環である職員交流プログラムに参画しました。同プログラムは、両大学の職員交流を通じて、グローバルな大学運営の現状に関する視野を広げ、業務改善と課題解決に向けたアイデア創出を目指すことを目的としたものです。令和 4 年 9 月 22 日（木）にソウル大学校の図書館より 2 名の職員を本学中央図書館に迎え入れ、ドキュメントデリバリーサービス、e リソースなどをテーマに、各々の取組や今後の展望等についてプレゼンテーションおよび意見交換を行いました。日本における著作権法の改正の影響や今後の展望、互いの機関リポジトリや業務システム等について強い関心がみられました。時間が足りなくなるほど活発に意見交換が行われ、自らの業務を見つめなおし、また相互の理解を深められる良い機会となりました。

第 15 回の文学賞は令和 4 年 11 月 8 日まで作品を募集し、令和 5 年 1 月の表彰式にて受賞作を発表する。

学生主役の企画展 第 10 弾「怖い？残酷？ —江戸時代の刑罰と法—」開催（1/24～10/31）

安高啓明研究室×附属図書館 連携企画展 第 10 弾「怖い？残酷？ —江戸時代の刑罰と法—」を中央館で開催した。

現代とは異なる江戸時代の刑罰について、獄門、入墨、切腹の 3 つを主に取り上げ、具体的な法令

や刑罰について記した古文書を展示、学生制作の「解説シート」を無料配布した。江戸幕府による支配のあり方を体感できる展示だと、好評を博した。

中央館ロビー展示「令和4年度第1回学生選書祭」開催（9/27～11/30）

中央館では、平成19年度より行っている学生選書員による学生用図書の選定を今年度も実施した。様々な分野から87タイトルの図書が選定され、学生選書員自ら作成した個性豊かな紹介文とともに中央館に展示、注目を集めている。



第37回貴重資料展「悲劇の藩主 細川光尚」開催（11/3～11/5）

3年ぶりの対面開催となった貴重資料展、今年度は「悲劇の藩主 細川光尚」と題し、わずか31歳で病に倒れた細川光尚の、生涯での活動を示す数々の貴重資料を展示。光尚の指南役だった沢庵（たくあん）和尚の自筆書状や、新発見資料とともに公開した。（永青文庫研究センター長・稲葉継陽教授監修）



3日（木・祝）には、稲葉教授による公開講演会／第16回永青文庫セミナー「細川光尚とその時代—天草島原一揆・寛永大飢饉・御国返上—」を開催。

展示会、講演会とも好評で、期間中合わせて377名の参加があった。



【佐賀大学】

1. 図書館月間2022

読書週間にあわせ毎年10月末から11月末の期間を図書館月間として、各種イベントを開催している。今年度は、地域学歴史文化研究センターとの共催で、江戸時代～大正時代にかけての佐賀における疫病と人びととのたたかいについて、貴重書小城鍋島文庫及び関連史料を用いて紹介した。また、佐賀大学附属図書館ホームページ内の特設ページに、今回展示する貴重書を説明とともに電子展示した。



同時に開催したクイズで学べる図書館脱出ゲームは、実際に館内を歩きながらクイズを解き、図書の配架（分類）や、施設設備、資料の探し方（蔵書検索、新聞、文献データベース）などを学べる内容で、参加者には概ね好評であった。

2. 附属図書館医学分館改修

令和4年4月21日、佐賀大学鍋島キャンパスの附属図書館医学分館改修竣工記念式典を執り行った。兒玉学長の挨拶に続き、来賓の山口元佐賀医科大学長の祝辞、中里附属図書館長の謝辞の後、テープカットが行われ、リニューアルオープンを祝った。

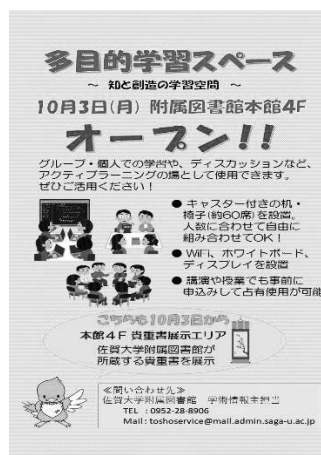


＊テープカットの様子

3. 多目的学習スペースオープン

令和4年10月3日、本館4階フロアーに新たに「多目的学習スペース」をオープンした。

グループでの学習やディスカッションなど、アクティブラーニングを実践する場としてさまざまな使い方ができ、キャスター付きの机、椅子を設置し、ホワイトボード、ディスプレイ、無線LAN等の設備を用意している。また、多目的学習スペースに隣接して、本学が所蔵する貴重書を展示す



るエリアを設け、展示ケースを設置し、常設展、企画展を行っている。

4. 国文学研究資料館と覚書を締結

大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館（国文研）が中心となって取組まれている「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」（略称：歴史的典籍NW事業）について、当館に協力の依頼があった。同事業によって構築が進められている研究基盤「新日本古典籍総合データベース」に、当館が所蔵する古典籍のデジタル画像を提供するもので、国文研との間で令和4年1月28日に覚書を締結し、令和4年度から令和5年度までの約2年間で既存のデジタル画像を提供したり、新たに古典籍のデジタル画像を作成したりするなどして協力を行うこととなった。

5. 佐賀県内図書館物流に試行的参加決定

佐賀県内の公共図書館では、平成22年度から、独自の物流体制を構築し、佐賀県立図書館がその業務委託費用を負担することで相互貸借を行っている。県立図書館では、この物流体制に県内の大学図書館を加えて規模を拡大することを検討されており、その第1号として、当館が令和4年度に試行的に参加することを提案され、了承した。この物流体制に参加することで、県内の公共図書館との図書の相互貸借は無償で行うことができるようになり、かつ週に3回の集荷と配送があるため、利用者にとっても利益が大きいと考えている。令和4年度の試行的な参加が良い結果となれば、令和5年度からは本格的にこの体制に加わる予定としている。

6. 中学生の職場体験学習

地元の中学生在が9月に2日間、職場体験学習のため来館し、図書館業務の体験学習を実施した。カウンター業務をはじめ、受入から目録、配架までの業務を一つ一つ熱心に取り組んでいた。大学図書館の業務の多さや作業の大変さを実感したよ

うだった。また、図書館職員にとっても自分たちの業務を振り返る良い機会になった。

【長崎大学】

「学生のための大学図書館へ」をスローガンにサービス向上の取り組み

本学図書館では、入館者数の減少を重く受け止め、令和3年度から令和4年度の全体スローガンを「学生のための大学図書館へ」として、サービス向上のミッションを職員一丸となって推進している。今年はミッションの2年目に入り、1年目を総括しつつ、更なるサービス向上に取り組んできた。

その結果、令和3年度の入館者数は目標値（令和元年度の50%）を達成し、令和4年度も順調に伸びている。ただし、貸出数は減少しており、新たな対策を模索している。

この取り組みについて「学生のための図書館へ！―大学図書館利用者激減に対する長崎大学附属図書館の改善の試み―」と題して、職員、館長、学長の連名で『図書館雑誌』へ投稿した。（一瀬瞳・浜田久之・河野茂. 学生のための大学図書館へ！―大学図書館利用者激減に対する長崎大学附属図書館の改善の試み―. 図書館雑誌. 2022, 116 (9), p. 560-563)

図書館サービスに関するWEBアンケートを実施

図書館利用者のニーズを探るため、6月27日～7月31日にかけて図書館サービスに関するWEBアンケートを実施した。対象は長崎大学の学生・教職員で、総回答者数445人（内、学生381人）だった。図書館をどのくらい利用していますか、の問いに対し、「ほとんど毎日」と「週に何度か」を足すと49.7%となった一方、「利用していない」が8.5%あった。その後の図書館サービス向上の検討に活用するとともに、自由記述回答の中にあった要望で実現可能なものについては早急に対応した。

SNSによる情報発信

きめ細かな情報発信による図書館の利用促進を目指し、令和4年1月から11月末までにブログ165本、ツイッター711ツイート、Instagram283回を投稿し、フォロワー数もツイッター903人、Instagram421人と、徐々に伸びている。その中で、ピンポイントで意見を問うことができるツイッターアンケートを9回実施し、のべ956人の回答を得た。

また、図書館ブログで浜田館長が連載している「フクロウ館長イチ推しの本」に登場する「フクロウ館長」と「黒ニャンコ司書」を職員がキャラクター化した。2月には「フクロウ館長」のぬいぐるみを製作して「広報特命館長」としてSNS等で紹介した。ぬいぐるみは館内でもマスコットとして展示され、イベントで学生と一緒に写真をとったり、地元紙のコラムにも取り上げられたりして、広報に効果を上げている。



浜田館長と「フクロウ館長」

自動販売機設置と「図書パン」の販売

中央図書館、医学分館、経済学部分館では、利用者の利便性向上のため、令和4年4月から各館に食品用の自動販売機を設置した。

このうち、経済学部分館では長崎大学生生活協同組合が設置した自販機で、パン、菓子類などの食品や文具などを販売しているが、5月には目玉商品として図書館職員の企画によるオリジナルの「図書パン」を発売した。



“案と餡”をかけたアンパンで、ふっくらした生地の上に学生の文字で「図書」と焼き印が押されている。パンは地元の社会福祉法人で焼かれて、たいへん美味しいと評判になった。その経緯を担当主査が「図書館雑誌」、「カレントアウェアネス-E」に投稿した。(宮脇英俊, 「図書パン」誕生のはなし, 図書館雑誌, 2022, 116 (8), p. 456-457) (宮脇英俊, 「図書パン」誕生: 学生のための図書館へ、その一つの試み, カレントアウェアネス-E, 2022, 440, E2520)

なお、中央図書館では健康補助食品と飲料を販売、医学分館では当面の間感染防止のため、食品の販売を自粛し文具と飲料のみを販売している。

経済学部分館改修1周年イベントを開催

経済学部分館では全面リニューアルして1年となった令和4年6月から3ヵ月間に渡り、クイズ・ゲームや展示のほか、リニューアル後の経済学部分館への入館回数が多い学生を表彰する「ベスト・リピーター賞」授与式など、7つの1周年記念イベントを開催した。以下、主なものを紹介する。

(1) 長崎学資料展示室企画展示2022 長崎の版画

6月1日(水)から8月31日(水)まで、開室1周年となった長崎学資料展示室で、江戸時代の「長崎版画」や、長崎出身の版画家 田川憲、山下南風の作品計23点を展示した。展示に関連して8月には、附属図書館地域文化研究会のメンバーでもある教育学部の中島貴奈准教授の講演会「長崎八景」を開催した。期間中の見学者は学外からの224人を含む503人だった。



「長崎の版画」展

(2) 総選挙! 私の好きな座席

6月1日(水)から3か月間、経済学部分館の中で1番好きな座席を投票する総選挙をWEBを通じて開催したところ、149人の投票があった。1位に選ばれたのは81票を獲得したラーニング・コモンズに設置されたファミレス風ソファ席だった。

(3) 来館3万人目表彰

7月7日(木)、経済学部分館はリニューアルオープン後、入館者3万人を達成した。3万人目の入館者となった経済学部学生は職員手製のくす玉を割り、記念品を渡された。



「長大図書館スタンプ・ラリー」を全館で実施

学生が楽しめるイベントを開催して利用者アップにつなげようと、6月20日（月）から7月3日（日）まで中央図書館、医学分館、経済学部分館の3館で、スマホを使ったスタンプラリーを実施し、155人の参加があった。そのうち99人がクリアして、特典のフクロウ館長がデザインされたオリジナルうちわなどの記念品を受け取った。参加者からは「スタンプを集めながら図書館のことも知ることができた」などの感想が寄せられた。

Library Lovers' Nagasaki 2022 の開催

長崎県大学図書館協議会の加盟館が開催するLibrary Lovers' Nagasaki キャンペーンは今年7回目を迎えた。ポスターとオリジナルグッズを共有し、各大学独自のイベントを展開した。

長崎大学では令和4年10月24日（月）から11月20日（日）の期間に、中央図書館、医学分館、経済学部分館でイベントを実施した。

毎年恒例のゲーム型イベントは、今年はクイズラリー形式とし、クイズを楽しみながら図書館に詳しくなってもらおうと、学生がなかなか足を運ばないような場所（書庫・展示室など）にスポットを設け、新たな発見があるような工夫をし、3館で102人が参加した。

そのほか、各館ごとの展示、2書店のブックハンティングと電子ブック選書会を同時に行う「選



クイズラリー制覇の記念品を手にする学生

書まつり」、中央図書館で実施した「箔押しワークショップ」など、学生に図書館と本に親しんでもらえるよう、工夫を凝らした企画を展開した。

地域文化研究会の活動

教員を中心とした長崎大学の分野横断型研究グループ「地域文化研究会」は、平成29年に附属図書館長の下に再結成され、活動を続けてきたところであるが、令和4年6月に内規を制定し、長崎大学附属図書館地域文化研究会として正式に附属図書館の一組織となった。これを機に、さらに図書館活動との連携を深めている。

同会は、昨年に引き続き、研究者による定例会の開催、人文・社会科学科目「今と昔の長崎に遊ぶ」の開講を実施。7月の定例会ではクルド人音楽家とジャーナリストを招き、一般の人でもWEBで視聴できる会とした。

また、3年目となる「グラバー図譜カレンダー2023～長崎のきれいか魚を食べてみんね」を製作し、11月に販売を開始した。これに合わせて12月2日～9日、中央図書館展示室で「グラバー図譜原画展」を開催し、カレンダーに使用した魚図を中心に15年ぶりとなる「日本西部及び南部魚類図譜」（通称「グラバー図譜」）のオリジナルの展示を行った。初日にはカレンダーの監修者である水産学部の山口敦子教授のギャラリートークが行われ、見学者は初めて見るグラバー図譜の原画と、本物の魚の標本写真を見比べながら、図譜の完成度に驚いていた。



グラバー図譜カレンダーと原画、標本写真の展示

【福岡教育大学】

1. usao 氏個展『先生の一年間』の開催

本学の卒業生であり、現非常勤講師として学校現場で勤務する傍ら Twitter を中心とした作品発表や、書籍を刊行するなど、教員を中心に多くの支持を受けている usao（うさお）氏による個展『先生の1年間』を開催した。

期中は教員の生活をテーマとした漫画作品展示、景品付きの「図書館利用」に関するクイズラリーのほか、氏から教員を志す学生へのアドバイスが詰まった資料の配布等を行った。

開催にあたっては2年ぶりに学外者の入館制限を解除したことから、県内外より多数の来館があった。



↑ usao 氏作成のポスター



2. 大学オープンキャンパス協賛

7月16日(土)に、3年ぶりとなる対面型オー

ペンキャンパスが開催された。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加対象者は高校生に限定の上、事前申込制、入構可能人数の上限等の制限はあったが、約1,100名の高校生が来学した。

図書館では「教科書ミニ展示」を実施し、検定制度導入前の「往来物」から、「明治期」、「終戦直後」、高校生の保護者世代の使用した「昭和60年代」、高校生が使用していた「平成20年代」の小学校教科書を展示し、多くの高校生・保護者が手に取る様子が見られた。



3. 「若手教員による研究成果発表」

11月より、「令和3年度大学教員活動評価」の結果に基づき研究活動の支援を受けた若手教員による研究成果発表会を実施した。



4. テーマ展示

令和4年度は「大学生活 基礎の基礎」、「採用試験対策」、「食欲全開」をテーマとした図書展示を行った。また、教員選書によるものとして「接続期の教科指導【国語】」、「中等国語科指導法」のほか、専攻未決定学生向けのコーナー設置を行った。

【宮崎大学】

第 26 回若山牧水受賞作と『牧水と時間（とき）を紡いだ百人』展を開催

令和 4 年 2 月 4 日～3 月 31 日まで、附属図書館本館において、若山牧水の同時代を生きた文人・文化人の肖像百人の移設展を開催しました。同展は前年秋、日向市東郷町坪谷の若山牧水記念文学館にて開催されたもので、その後、日向市駅と日向市役所においてリレー展示され、今回バトンを受けて本学において展示することになり、宮崎市内では初の開催となりました。牧水短歌からイメージされた大判絵画とともに、教科書で誰もが気になった文人たちの肖像から、様々な読書へと目を向ける契機として企画されました。



1 F 展示コーナーでの月例展示



『牧水と時間（とき）を紡いだ百人』展

『プロジェクションマッピング短歌会』開催

令和 4 年 3 月 29 日附属図書館本館 3 F において、『プロジェクションマッピング短歌会』が開催されました。本企画は、「光と映像で表現する宮崎」と題したプログラムで、宮崎大学チャレンジプログラムに参加したグループと、宮崎大学短歌会（サークル）のグループによる発案で、異分野の学生がコラボして行われたものです。

歌会では、テーマ詠「溪流」としてプロジェクションマッピングによって覆われた空間に座し、同テーマで事前に集められた短歌 11 首に対して、参加者が歌から想像される情景や詠み手の心情を思い思いに披露し、実際の詠み手が歌へ込めた思いを披露する形で行われ大いに盛り上がりました。

短歌会の代表からは、「他学部の学生とコラボして何かをするということ自体が大変貴重ですし、良いタイミングで対面により実施できたことも非常に楽しかったです。今後、他のグループとのコラボも展開してみたいです。」と、抱負が語られ、プロジェクションマッピングの代表からは、「プロジェクションマッピングの技術は、感覚的なものを視覚的、聴覚的に捉えることで、更に深化して感じる事ができるものだと思うので、工学的な展開だけでなく、大学の他学部との融合にチャレンジしてみたい」と抱負が語られました。

この企画は、試行的に行われたもので、限定的にオンラインでも配信され、双方とも今後の展開に期待が持てる企画となりました。



『プロジェクションマッピング短歌会』の様子

『宮崎基地特攻資料展』を開催

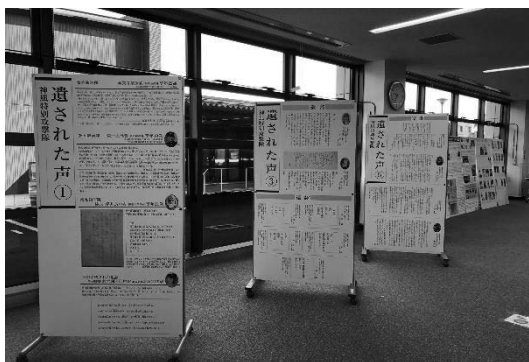
令和4年9月6日～9月22日まで『宮崎基地特攻資料展』（主催：宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会、共催：宮崎大学、後援：南九州文化会）を開催しました。

本資料展は、第二次世界大戦中に日本各地で起こった悲劇が二度と繰り返すことのないよう、大学生をはじめとする若い世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることを目的として、本学が宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会と協力して開催しているもので、3回目の開催となりました。

会場には、現在の宮崎空港である宮崎基地（赤江飛行場）から出撃した特攻隊員達の遺影や特攻隊員が家族にあてた手紙や遺書などを並べたパネル及び当時の宮崎基地の全貌が描かれたパネル、アメリカ軍兵士が実際に使用していた装備品や戦闘機の模型などの展示、MRT 宮崎放送の協力を得た映像視聴コーナーの設置を行いました。また、宮崎県内で飛行中に撃墜され、不時着したことなどが原因で命を落としたアメリカ兵 38 人の資料もあり、日米双方からの視点による展示内容が特徴となっています。



『宮崎基地特攻資料展』



遺書の展示コーナー

『アフガニスタン』に関する資料を展示

宮崎大学では、現在、アフガニスタンやミャンマー、ウクライナ等、紛争や戦争により人道危機に直面して、母国から避難してきた、または母国に帰国できない外国人卒業生に対する人道支援の必要性が生じており、このような事態を受けて、本学は外国人卒業生及びその家族が日本社会に定着できるように、日本語や日本文化の学習支援を中心として、支援を行っています。

その一環として、令和4年10月3日～10月15日まで附属図書館本館においてアフガニスタンの歴史や文化に関する資料等の展示を行いました。外国人卒業生等への人道支援のため、本学構成員や全学同窓会のみならず、広く一般の方々からも寄附を募っており、展示期間中は、附属図書館においても募金箱を設置しました。



企画展示『宮崎大学とアフガニスタン』



民族衣装である『チャパン』の試着展示

【琉球大学】

「ありんくりんサーチ」の導入

4月から、本学で利用できる紙の資料や電子資料をまとめて検索することができる「ありんくりんサーチ」を導入しました。

「ありんくりん」とは沖縄の方言で、「あれもこれも」という意味です。これまでは、利用したいコンテンツに応じて、検索するデータベースを使い分ける必要がありましたが、「ありんくりんサーチ」では横断的にまとめて検索することができます。

「ありんくりんサーチ」の特徴として、その検索のスピードがあります。複数のデータベースを検索していきませんが、検索でヒットしたものからどんどん結果を表示していきますので、検索結果を待つ時間は体感的にはほとんどありません。

利用者が使いやすいよう、今後も「ありんくりんサーチ」の内容充実に取り組んでいきます。



ありんくりんサーチ

沖縄復帰 50 年企画展「つながる！ 復帰 50 年と琉球大学」開催

5月10日から6月30日にかけて、本館3階ホールにて沖縄の日本復帰50年をテーマとした企画展「つながる！ 復帰50年と琉球大学」を開催しました。1972年に沖縄が日本に「復帰」してから50年目の節目として企画し、沖縄の戦後史と本学が経験した「復帰」の歴史を紹介しました。当時の本学は「復帰」関連の社会情勢や復帰運動に連動して大きく揺れ動いていたことがわかります。企

画展は各マスコミにも取り上げられ、期間中は多くの学生・教職員、さらには学外からも166人の見学者が来場しました。また、同企画展の特設サイトを作り、YouTubeでの動画配信、SNSでの広報などで来館できない方々向けにオンラインコンテンツの充実も図りました。アンケートでは特設サイトを高く評価する意見や、毎年開催を希望する意見もあり、さらに50年前に在学していた本学OBからは「懐かしく拝見しました」との感想をいただき、スタッフ一同の励みになりました。

今後は「復帰50年フィードバック展」の開催を予定しています。本企画を通して、現代にもつながる沖縄社会の課題や「復帰」に対する人々の複雑な想いを学び、次の50年へとつなげる機会になればと考えています。

学修相談にLINEを導入

本館2階ラーニング・コモンズ内に、大学院生がTA（ティーチング・アシスタント）として学修支援を行う相談窓口「ラーニング・サポートデスク」を開設しています。

対面での相談のほか、Zoomを利用したオンライン相談も行っていますが、新たな相談ツールとして、学生が普段から親しんでいるLINEを導入しました。

匿名でいつでもどこでも相談することが可能となり、より気軽に相談できるようになりました。中には、LINEでのやり取りの後に対面相談へ繋がるケースもあり、相談件数は前年度同期比で約6倍に増加しました。

琉球大学学術リポジトリをリニューアル

琉球大学学術リポジトリは、2月にJAIRO Cloudへ移行しました。

著者にとっては、リポジトリに登録することで、Google等の検索エンジンからヒットしやすくなり、より多くの人々の目に学術研究成果等が触れる可能性が高まります。

今後は、リポジトリに登録する本学刊行紀要論文や博士論文へ DOI を付与し、研究成果の可視性・アクセス性を高め、さらにオープンアクセスを推進していきます。

琉球大学附属図書館・琉球大学博物館(風樹館)、令和4年度の合同企画展を開催

当館及び琉球大学博物館(風樹館)では、地域貢献の一環として、本学が所蔵する資料を公開する学外企画展を毎年秋に開催しています。本年度は9月10日から10月2日の期間、沖縄県南風原町教育委員会との共催による合同企画展「琉球大学資料にみる南風原～自然と歴史～」を南風原町立南風原文化センターにて開催しました。

会期中は展示資料に関連した講座及び展示内容に関連した座談会が2件開催されました。講座は「近世の南風原」(講師:麻生伸一氏)、座談会は「50年前の琉球大学を語る」(登壇者:日本復帰以前の本学OB2名、現役琉大生2名)、および「織物トークセッション」(登壇者:平良次子氏・仲間伸恵氏・久貝典子氏)と題して行われました。期間中は延べ601人が会場へ訪れました。さらに、図書館ではオンライン上に同企画展サイトを作成し、YouTubeチャンネルでも関連動画を配信しています。

附属図書館FD「高等教育機関向け電子教科書の活用事例と開発事例」を開催

10月28日に附属図書館FDとして「高等教育機

関向け電子教科書の活用事例と開発事例」をオンラインで開催しました。

図書館の蔵書としても電子書籍が一般化しつつある昨今、大学で使用される教科書も電子書籍で提供されるケースが増加しております。

今回のFDは、教科書としての電子書籍の活用事例と開発事例を通して、高等教育機関向けの電子教科書の利点や問題点を学ぶことを趣旨として、北海道医療大学薬学部教授・情報センター長の二瓶裕之氏から北海道医療大学様でのICT/DXの取り組みについて、丸善雄松堂電子ソリューション開発センターの田端勇氏から電子教科書・電子図書館サービスについてご紹介いただきました。

琉球大学
附属図書館 FD

高等教育機関向け 電子教科書の 活用事例と開発事例

図書館の蔵書としても電子書籍が一般化しつつある昨今、大学で
使用される教科書も電子書籍で提供されるケースが増えてきました。
教科書としての電子書籍の活用事例と開発事例を通して、高等教
育機関向けの電子教科書の利点や問題点を学ぶ機会としてのFD
です。ご興味のある方はぜひご参加ください。

令和4年10月28日(金)
10:20 ~ 11:50

zoom

10:20 ~ 10:25
館長挨拶

10:25 ~ 11:10
北海道医療大学 薬学部教授・情報センター長
二瓶 裕之氏 講演

11:10 ~ 11:40
丸善雄松堂株式会社 電子ソリューション開発センター
田端 勇氏 講演

11:40 ~ 11:50
質疑応答

申込み(10月24日まで)
<https://forms.office.com/r/H4LekFqg1P>

担当: 附属図書館 図書情報係
libinfo@u-ryukyuu.ac.jp

図 書 館 活 動 報 告

福岡県・佐賀県大学図書館協議会

【令和4年度総会（書面会議）】

日 時：令和4年5月25日（水）～6月8日（水）

当番館：西日本工業大学図書館

投票会員：38 館

協議事項

- (1) 令和3年度決算報告および監査報告
- (2) 令和4年度事業計画および予算案審議
- (3) 次期理事館および監事館の選出
- (4) 福岡県図書館協会理事の選出

地区研究会報告

- (1) 北部地区

西南女学院大学図書館

- (2) 福岡地区

九州大学附属図書館

- (3) 南部地区

佐賀女子短期大学図書館、佐賀大学附属図書館

承合事項

- (1) 図書館経費でのマンガ購入について
- (2) 学内契約電子コンテンツ等の周知方法について
- (3) 外国図書の納入価格について
- (4) 資料の調達に係る学内規程について

福岡県・佐賀県大学図書館協議会 北部地区研究会

【令和2年度 研究会（書面会議）】

日 時：令和3年2月22日（月）

当番館：産業医科大学図書館、
九州女子大学・九州女子短期大学附属
図書館

回答館：14 館

議 事：

- (1) 令和元年度決算報告及び監査報告
- (2) 令和2年度予算(案)

- (3) 協議事項

- ①福岡県・佐賀県大学図書館協議会
北部地区研究会当番館について
- ②当番館制の見直し(2館から1館)を
令和3年度の研究会で審議について

- (4) 承合事項

- ①コロナ感染拡大防止対策について

確認事項：

- ①令和3年度当番館の確認について
- ②令和4年度当番館選出について

九州地区私立短期大学図書館協議会

【2022（令和4）年度 総会】

総会（書面会議）

- (1) 令和3年度事業報告
- (2) 令和3年度決算報告及び監査報告
- (3) 令和4年度事業計画及び予算（案）
- (4) 令和4年度役員館について

研修会（オンライン）

日 時：令和4年4月22日（金） 14時

当番館：福岡女子短期大学図書館

出席者：15館 26名

1. 講演

演題：「太宰府」にあるから考えること～
大学と大学図書館～

講師：永利和則氏（福岡女子短期大学文化
教養学科教授）

2. 情報交換会

承合事項

私立大学図書館協会西地区部会 九州地区協議会

【2022（令和4）年度 九州地区協議会】

日 時：2022（令和4）年4月18日（月）～22日
（金）

場 所：メール会議

当番館：筑紫女学園大学

出席者：49校

議 事：

報告事項：

- (1) 九州地区協議会関係
 - ①2021年度九州地区協議会及び決算報告
 - ②第1回定例幹事会報告
 - ③2021年度九州地区研究会及び決算報告
 - ④-1 研究会準備委員会報告
 - ④-2 研究会準備委員会 追加協議報告
 - ④-3 研究会準備委員会 追加協議報告
 - ⑤第2回定例幹事会報告
 - ⑥臨時幹事会（書面会議）報告
- (2) 九州地区大学図書館協議会関係
 - ①九州地区大学図書館協議会総会
- (3) 西地区部会関係
 - ①2022年度西地区部会事業計画（案）および予算（案）について
 - ②2022年度予算の暫定執行について
 - ③2022年度西地区部会総会開催概要（案）について

④2022年度西地区部会研究会開催概要（案）
について

⑤国際図書館協力委員会委員校の選出方
法（申合せ）について

⑥西地区部会の組織・スリム化について

⑦2022・2023年度西地区部会役員校・当番
校一覧

⑧2022年度西地区部会関連行事日程につ
いて

(4) 私立大学図書館協会関係

①2021～2023年度 協会役員校、委員会委
員および協会関連団体委員

②第83回（2022年度）総会・研究大会につ
いて

③2022年度行事・会議予定

④第82回（2021年度）総会・研究大会の報
告について

⑤2022年度研究助成について

⑥2021年度協会賞について

⑦加盟校について

協議事項：

(1) 九州地区協議会関係

①2022年度九州地区協議会研究会について

②2025・2026年度以降の九州地区協議会
理事校の推薦について

③九州地区協議会役員校等ローテーション表について

④地区別加盟校名簿（五十音順）について

⑤2022年度九州地区協議会年会費について

(2) 九州地区大学図書館協議会関係

①2022 年度九州地区大学図書館協議会の役員校について

承合事項：

- (1) 多様な図書資料の中で、購入図書を年間どれだけ受け入れているか
- (2) 研究用図書の予算区分について（備品図書費、消耗図書費）

確認事項：

- (1) 「加盟校基礎データ変更届」について
- (2) 九州地区協議会メーリングリストについて
- (3) 九州地区協議会年度別幹事校
- (4) 本会関係行事・会議等スケジュール

その他：

- (1) 2022 年度の当番校・幹事校・役員校等の

紹介

【2022（令和4）年度 研究会】

日 時：2022（令和4）年9月8日（木）～15日（木）

テーマ：『社会の変化と大学図書館 ～情報化時代における大学図書館の役割～』

場 所：メール配信

幹事校：崇城大学

出席館：全加盟館 49 校（メール受信確認を実施）

講 演：中止

事例事項：

- (1) 「コロナ禍における本学図書館のサービスと課題」 久我早詠子氏（西南女学院大学図書館）
- (2) 「電子書籍の広報方法について」 野口啓世氏（純真学園図書館）
- (3) 「コロナ禍における本学図書館の対応と課題について」 土持あい氏（九州保健福祉大学附属図書館）
- (4) 「コロナ禍による環境の変化と大学図書館の利用促進」 梅尾由紀子氏（崇城大学図書館）

2022（令和4）年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会 福岡地区研究会 記録

日 時：2022（令和4）年11月29日（火）13：30～
16：30

会 場：オンライン開催（福岡女子大学）

出席者：11 館 28 名

当番館：福岡女子大学附属図書館
筑紫女学園大学附属図書館

テーマ：「大学図書館における研究・教育支援と著作権～ポストコロナの時代を見据えて～」

1. 講演

演 題：「教育と研究の著作権—図書館業務を中心に—」

講演者：山口大学知的財産センター センター長
（山口大学国際総合科学部教授）
小川 明子 氏

3. 承合事項

- (1) 学術機関リポジトリに登録する際の許諾条件等の確認、出版社や学協会等に関する権利処理について

（提案大学：九州産業大学）

- (2) キャッシュレス決済の導入について

（提案大学：福岡教育大学）

- (3) 各加盟館の人員体制等について

（提案大学：福岡女子大学）

4. その他

2023（令和5）年度福岡地区研究会当番大学の紹介

福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会

【令和3年度 第2回研究会・総会】

日 時：令和4年2月4日（金）13：30～16：20

会 場：佐賀大学附属図書館

オンライン会議（Webex）

出席者：12館（18名）

議 事

（1）研究テーマ

1）新入生オリエンテーションのやり方

（提出館：佐賀女子短期大学図書館）

（2）協議事項

1）令和4年度研究テーマについて

「コロナ禍における図書館運営について」

（提出館：九州大谷短期大学図書館）

（3）承合事項

1）消耗図書の定義について

（提出館：久留米工業大学

学術情報センター図書館）

2）電子書籍について

（提出館：佐賀女子短期大学図書館）

3）電子書籍の利用促進について

（提出館：佐賀大学附属図書館）

（4）講演

演題：「アジア＝九州のネットワーク再考

－コロナ禍での

デジタルエリアスタディの紹介－」

講師：佐賀大学芸術地域デザイン学部

教授 山崎 功 氏

（5）令和3年度南部地区研究会のまとめについて

（6）総会

1）令和3年度決算について

2）令和4年度予算書（案）について

3）令和4年度幹事館及び当番館の選出について

4）令和4年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会理事館・監事館の選出について

【令和4年 第1回研究会】

日 時：令和4年9月30日（金）14：30～16：10

会 場：久留米工業高等専門学校 大会議室

（Teamsにて開催）

出席者：12館20名

議 事

（1）研究テーマ

1）「コロナ禍における時間内（外）の

図書窓口業務スタッフの確保について」

（提出館：久留米工業高等専門学校図書館）

（2）承合事項

1）電子コンテンツの学外からの

利用サービスについて

（提出館：久留米工業大学図書館）

2）学外者の取り扱い（医学分館）について

（提出館：佐賀大学附属図書館）

（3）講演

演題：「図書館の在り方への期待」

講師：久留米工業高等専門学校

副図書館長 ウリントヤ准教授

（4）次期当番館の確認

九州地区国立大学図書館協議会

1. 令和4年度研修会

国立大学図書館協会地区協会助成事業

日 時：令和4年12月8日(木)14:00～16:00

内 容：webセミナー (ZOOM・YouTube)

テーマ：「大学図書館における SNS 活用と情報発信」

主 催：九州地区国立大学図書館協会

後 援：九州地区大学図書館協議会

講 師：前田めぐる (Value Promotion)

申込者：(申込制の web 講演)

ZOOM・51 名

YouTub 視聴・53 名

佐賀県大学図書館協議会

令和4年度 佐賀県大学図書館協議会総会 (書面会議)

日 時：令和4年11月28日(月)

参加館：5 館

議 事

1. 協議事項

- (1) 令和3年度決算報告および監査報告について
- (2) 令和4年度会費徴収の見送りについて
- (3) 令和4年度予算案について
- (4) コロナ禍における大学コンソーシアム

佐賀学生の図書館利用について

- (5) 令和5年度の幹事館及び監査館の選出について

2. 報告事項

- (1) 各大学図書館の活動状況報告について
- (2) 承合事項の回答について

3. 承合事項

- (1) 佐賀県内図書館物流システムについて

長崎県大学図書館協議会

1 令和4年度総会(書面会議)

日 時：令和4年8月8日(月)～8月24日(水)

出席者：11 館

議 題

- (1) 令和3年度事業報告・決算報告・監査報告について
- (2) 令和4年度・5年度の役員館等の選出について
- (3) 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)について

報告等

- (1) 承合事項 2 件

- (2) 報告 第110回(令和6年度)全国図書館大会長崎大会の開催について

2. 研修事業

令和3年度長崎県大学図書館協議会実務研修会

日 時：令和4年3月8日(火)13時30分～16時30分

会 場：オンライン開催 (Zoom)

プログラム①

講演：アクティブラーニングのための効果的な図書館利用

講師：辻高明氏(長崎大学大学教育イノベーション)

ョンセンター准教授)
プログラム②
情報交換会
参加者 27 名

長崎県公共図書館等協議会との合同研修会

日 時：令和 4 年 10 月 3 日（月）10 時 15 分
～15 時 30 分

会 場：長崎県教育センター＋オンライン

講義①日本語・英語で調べるアジア諸国の情報

講師：酒井剛氏（国立国会図書館関西館アジア
情報課）

講義②「見やすく、分かりやすいチラシの作成
方法」ワークショップ形式

講師：水田竜太氏（県立長崎工業高等学校）

講義③長崎県読書バリアフリー推進計画につ
いて

講師：村上兼一氏（長崎県教育委員会生涯学習
課）

参加者（WEB 参加を含む）

155 名（大学 21 名、公共等 134 名）

3. Library Lovers' Nagasaki 2022

長崎県大学図書館協議会事業として、Library
Lovers' Nagasaki 2022 を開催。図書館利用促進
のキャンペーンとして、オリジナルグッズ製作、
ポスター作成、ブログ運営、3 年ぶりとなる共通
イベント「オリジナルステッカー画像プレゼント」
を実施した。また、10 大学が各館独自イベントを
開催し、ブログ等を通じて成果を共有した。

熊本県大学図書館協議会

1. 令和 4 年度総会（書面会議）

日 時：令和 4 年 6 月 9 日（木）～6 月 16 日
（木）

当番館：崇城大学図書館

出席者：12 館

審議事項：

- (1) 令和 3 年度総会議事報告書の確認につ
いて
- (2) 令和 3 年度事業報告について
- (3) 令和 3 年度収支決算並びに監査報告につ
いて
- (4) 令和 4(2022)年度事業計画（案）及び予算
（案）について
- (5) 次年度世話館について

承合事項：

- (1) 大学図書館における一般市民への利用サ
ービスについて

(2) 一般市民の図書館利用について

(3) コロナ禍における学生利用促進について

その他：

- (1) 新聞所蔵リストの作成について

2. 研修会

日 時：令和 4 年 9 月 21 日（水）

場 所：Microsoft Teams

：崇城大学図書館

出席者：10 館 24 名

演 題：電子書籍をめぐる課題と事例

一紀伊國屋書店の電子書籍サービスを題材に

—

講 師：株式会社紀伊國屋書店

学術情報販売促進本部 デジタル情報営業部

電子図書館サービス課 味戸 有紀

大分県大学図書館協議会

1. 令和3年度研修会

日時：令和4年2月21日（月）13：30～15：30

会場：オンライン開催

講演会：演題「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス/デジタルコレクションの概要」
講師 久常香織 氏（国立国会図書館関西館）

2. 令和4年度総会

日時：令和4年9月12日（月）～9月16日（金）

当番館：別府大学附属図書館

会場：書面回議

出席者：9館、大分県立図書館（オブザーバー）

協議事項：

- (1) 令和3年度事業報告について

- (2) 令和3年度決算報告（案）及び監査報告（案）について

- (3) 令和4年度事業計画（案）について

- (4) 令和4年度予算（案）について

- (5) 令和5年度役員館（案）及び当番館（案）について

- (6) 本協議会会則で定める今年度会費の一次的な徴収停止について

- (7) 大分県の図書館協議会の共同情報交換・共同情報サービス等、より緊密な協力体制の確立の構築について

承合事項：

- (1) 古文書等の郷土資料の所蔵について
- (2) コロナ禍の利用制限について
- (3) 除籍基準について

鹿児島県大学図書館協議会活動報告

【第43回鹿児島県大学図書館協議会総会（書面会議）】

日時：令和4年6月28日（火）～7月8日（金）

当番校：鹿児島国際大学

出席館：13館（オブザーバー館2館含む）

報告事項

1. 役員館について

2. 会費について

審議事項

1. 令和3年度会務報告

2. 令和3年度決算報告及び監査報告

3. 令和4年度事業計画

- (1) 研修委員会活動計画について

- (2) 広報委員会活動計画について

4. 令和4年度予算（案）について

沖縄県大学図書館協議会

1. 2022 年度（第 50 回）総会（書面会議）

日 時：2022 年 9 月 20 日（火）～10 月 3 日（月）

場 所：書面会議

当番館：沖縄国際大学図書館

審議事項

- (1) 2021 年度事業報告について
- (2) 2021 年度決算報告について
- (3) 2022 年度事業計画について
- (4) 2022 年度予算について
- (5) 2023 年度の当番館・幹事館及び 2022 年度の監査館の選出について

2. 研修事業

日 時：2022 年 12 月 16 日（金）

10：30～11：30

場 所：オンライン開催（Zoom）

テーマ：図書館機能を利用したリテラシー教育—
大学 1 年生はどのように情報を入手して
いるのか？—

講師：山口真也氏（沖縄国際大学図書館長）

令和 4 年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

日 時：令和 4 年 10 月 14 日（金）

場 所：オンライン

当番館：福岡教育大学学術情報センター図書館

出席者：11 館 19 名

協議事項

- (1) 来館型・非来館型サービスの充実方策について
- (2) 学外者への利用制限について

承合事項

- (1) 図書館内への空気清浄機設置について

- (2) 業務改善ツールの導入について

- (3) 外部資金の獲得について

- (4) 研究費で購入した図書の返却後の運用について

- (5) 文献複写サービスにおける館長承認フローについて

その他

- (1) 次年度の会議テーマについて

令和 4 年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日 時：令和 4 年 12 月 1 日（木）10:15～11:00

場 所：Microsoft Teams

出席者：11 大学 22 名

議 事：

・報 告

1. 令和 4 年度九州地区国立大学図書館協会
実務者連絡会議報告
2. 令和 4 年度国立大学図書館協会地区協会

助成事業について

3. 令和 4 年度九州地区国立大学法人等職員
採用図書系専門試験について

・協議題

1. レクレーション（ソフトバレーボール大会）
の中止について

令和4年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日 時：令和4年12月1日（木）10:10～11:10

2. その他

場 所：Microsoft Teams

出席者：8大学9名

テーマ：

1. 図書館が直面している課題について
：研究データ、電子ジャーナル、コロナ禍等

令和4年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議

日 時：令和4年12月1日（木）11:15～12:00

・協議題

場 所：Microsoft Teams

出席者：11大学 32名

議 事：

・報 告

1. 館長懇談会報告
2. 事務（部・課）長会議報告
3. 令和4年度国立大学図書館協会秋季理事会

報告

・意見交換・情報共有

1. 電子ジャーナル契約の課題への対応について

1. 令和5年度九州地区大学図書館協議会総会の開催方法について
2. 令和5年度九州地区国立大学図書館協会総会及び秋の会議の開催方法について
3. 令和5年度九州地区国立大学図書館協会総会当番校及び九州地区大学図書館協議会役員館の選出について
4. 令和6年度（第71回）国立大学図書館協会総会について

事務局報告

令和4年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

令和4年12月5日(月)に書面回議により開催の結果、「第73回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)」について承認された。

その他について、意見等はなかった。

議題

1. 第73回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)について

今年度当番館 福岡教育大学学術情報センター図書館から資料1のとおり第73回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)の提出がありましたので、内容をご確認ください。

2. その他

① 九州地区大学図書館協議会総会における協議事項等について

ご意見等がおありでしたらお知らせください。なお、協議事項等は別途第74回総会当番館(佐賀大学)から照会します。

② 副議長について

総会における副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により以下の順番で執り行われております。なお、令和5年度につきましては、コロナ禍の影響等を鑑み、書面回議を予定していることから、副議長は選出しないことといたします。

<参考>

平成11年度(公立大学部会副幹事館長)

福岡女子大学

平成12年度(私立大学部会副幹事館長)

鹿児島国際大学

平成13年度(私立短大部会副幹事館長)

沖縄キリスト教短期大学

平成14年度(国立大学部会副幹事館長)

福岡教育大学

平成15年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎公立大学

平成16年度(私立大学部会副幹事館長)

筑紫女学園大学・短期大学

平成17年度(私立大学部会副幹事館長)

九州東海大学

平成18年度(国立大学部会副幹事館長)

長崎大学

平成19年度(国立大学部会副幹事館長)

熊本大学

平成20年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎県立看護大学

平成21年度(私立大学部会副幹事館長)

九州産業大学

平成22年度(国立大学部会副幹事館長)

大分大学

平成23年度(私立大学部会副幹事館長)

熊本学園大学

平成24年度(公立大学部会副幹事館長)

長崎県立大学

平成25年度(私立大学部会副幹事館長)

久留米大学

平成26年度(公立大学部会副幹事館長)

鹿児島県立短期大学

平成27年度(私立大学部会副幹事館長)

沖縄国際大学

平成28年度(私立短大部会副幹事館長)

鹿児島純心女子短期大学

平成29年度(公立大学部会副幹事館長)

九州歯科大学
平成30年度(私立大学部会副幹事館長)
九州国際大学
平成31(令和元)年度(公立大学部会
副幹事館長) 宮崎公立大学
令和2年度(私立大学部会副幹事館長)
福岡工業大学
令和3年度(コロナの影響により書面回
議のため選出しない)
令和4年度(コロナの影響により書面回
議のため選出しない)

③ 副幹事館、表彰委員館、編集委員館の交代について

令和5年度は、副幹事館を選出
していただく年(任期2年間)で
す。また、表彰委員館、編集委員
館の任期は1年間(再任は妨げな
い。)ですので、それぞれ各部会
で当番館のご検討をお願いいたし
ます。

第 73 回九州地区大学図書館協議会総会（書面回議）記録

日 程 表

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 開催方法を書面回議にする旨通知日 | 令和 4 年 4 月 1 5 日（金） |
| 2. 書面回議通知日 | 令和 4 年 6 月 3 0 日（木） |
| 3. 回答期限 | 令和 4 年 7 月 1 4 日（木） |

第 73 回九州地区大学図書館協議会総会（書面回議）議事要録

1. 報告事項

（1）永年勤続表彰

「九州地区大学図書館協議会表彰規程」（参考）に基づき、表彰を受ける者を各大学へ照会したところ、表彰規定の第 2 条の第 2 号（勤務期間 2 0 年以上の者で退職または転職した

者）6 名、表彰規定の第 2 条の第 1 号（勤務期間 2 0 年に達した者）1 4 名の推薦があり、表彰委員会による審査の結果、以下のとおり全員の表彰を決定した。

①勤務期間 2 0 年以上の者で退職または転職した者（表彰規定の第 2 条の第 2 号）

（所属機関、氏名の 5 0 音順）

	表彰の区分	所 属 大 学 名	氏 名
1	第 2 条第 2 号	九州大学附属図書館	河 上 章 彦
2	〃	長崎大学附属図書館	山 口 香奈子
3	〃	福岡工業大学附属図書館	河 野 真奈美
4	〃	九州産業大学図書館	山 口 葉 子
5	〃	久留米大学附属図書館	二 又 紅美子
6	〃	志學館大学図書館	濱 田 みゆき

②勤務期間 2 0 年に達した者（表彰規定の第 2 条の第 1 号）

（所属機関、氏名の 5 0 音順）

	表彰の区分	所 属 大 学 名	氏 名
1	第 2 条第 1 号	九州大学附属図書館	鳥 居 愛
2	〃	九州大学附属図書館	羽 賀 真記子
3	〃	九州大学附属図書館	芦 北 卓 也
4	〃	九州大学附属図書館	星 子 奈 美
5	〃	九州大学附属図書館	塚 本 佳 奈
6	〃	九州大学附属図書館	宮 岡 大 輔
7	〃	九州大学附属図書館	三 坂 雅 子

8	〃	九州大学附属図書館	江 藤 由 美
9	〃	九州大学附属図書館	荒 牧 須美子
10	〃	長崎大学附属図書館	松 田 綾
11	〃	長崎大学附属図書館	柳 生 紀 子
12	〃	大分大学学術情報拠点（図書館）	佐 藤 浩 彰
13	〃	琉球大学附属図書館	森 一 郎
14	〃	西南学院大学図書館	山 下 大 輔

（２）幹事館報告

資料３に基づき、本協議会の活動について
報告した

（３）部会報告（国立、公立、私立、私立短大）

資料４に基づき、各部会について報告した。

について」集計結果

「20 年を超える永年勤続者を特に顕彰する

趣旨であり、変更すべきでない。」20 館

「永年勤続は同一人に対して、一度だけとの
方針に変更すべき。」49 館

「その他」7 館

２．予算・決算

（１）令和３年度決算及び監査報告

資料６に基づき、令和３年度決算及び監
査報告が了承された。

<協議結果>

規程の改正について、提案どおり了承された。

（２）令和４年度予算（案）

資料７に基づき、令和４年度予算（案）
が了承された。

４．承合事項

7 件の承合事項について、各加盟館からの
回答を資料９に基づき報告した。

３．協議事項

（１）九州地区大学図書館協議会表彰規程の改正 について

【提案理由】

前回の第72 回九州地区大学図書館協議会総
会（書面回議）の協議事項「永年勤続表彰に関
する方針について」において、加盟館にご意見
を伺った結果、「永年勤続は同一人に対して、
一度だけとの方針に変更すべき。」という方針
に賛同いただく機関が49 館で最多であった。
その結果に基づき、九州地区大学図書館協議会
表彰規程の改正を提案したい。

（参考）協議事項「永年勤続表彰に関する方針に

５．次期役員館・当番館の選出

（１）幹事館を九州大学とすることについて了承
された。

（２）幹事館以外の次期役員館と当番館について、
以下のとおり了承された。

○副幹事館 国立大学部会：九州工業大学
公立大学部会：福岡女子大学
私立大学部会：福岡工業大学
私立短期大学部会：
鹿児島女子短期大学
○監査館 九州産業大学
○表彰委員館 国立大学部会：大分大学
公立大学部会：九州歯科大学

私立大学部会：

鹿児島純心女子大学

私立短期大学部会：

鹿児島純心女子短期大学

○編集委員館 国立大学部会：琉球大学

公立大学部会：福岡県立大学

私立大学部会：鎮西学院大学

私立短期大学部会：

鹿児島純心女子短期大学

○次期当番館 中部地区：佐賀大学

令和3年度決算

一般会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
会費	462,000	468,000	総会運営費	0	0
協議会誌代	116,000	116,000	協議会誌発行費	250,000	242,000
広告掲載料	230,000	40,000	事務費	20,000	31,591
広告掲載料	160,000	160,000	積立金会計へ繰入	698,000	510,409
小計	968,000	784,000	小計	968,000	784,000

積立金会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	662,482	662,482	表彰経費	37,000	77,902
預金利息	4	11	研修会経費	0	0
一般会計から繰入	698,000	510,409	研修会補助費	180,000	20,000
			次年度繰越金	1,143,486	1,075,000
小計	1,360,486	1,172,902	小計	1,360,486	1,172,902

令和4年3月23日 会計監査実施済

監査館 西南学院大学 学術支援部 図書情報課長



山口 由美子

令和4年度予算(案)

一般会計

(単位：円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	備 考	科 目	予 算	備 考
会 費	468,000	@6,000円×78館	総会運営費	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、書面回議(当番館：福岡教育大学)へ変更
協議会誌代	116,800	第64号(令和3年度)@800円×146部	協議会誌発行費	250,000	第64号(令和3年度)200部
広告掲載料	260,000	15社 第65号(令和4年度)見込み分	事務費	35,000	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	220,000	12社 第64号(令和3年度)未収分	積立金会計へ繰入	779,800	研修事業補助等
小 計	1,064,800		小 計	1,064,800	

積立金会計

(単位：円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	備 考	科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	1,075,000		表彰経費	75,000	令和2年度予算額を参照
預金利息	11		研修会経費	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、謝金を伴う総会講演会の開催を中止
一般会計から繰入	779,800		研修会補助費	180,000	各県協議会研修経費補助(9地区×20,000円)
			次年度繰越金	1,599,811	
小 計	1,854,811		小 計	1,854,811	

九州地区大学図書館協議会会則

昭和 25 年 11 月 27 日施行
昭和 32 年 9 月 12 日改正
昭和 41 年 6 月 2 日改正
昭和 51 年 4 月 23 日改正
昭和 55 年 5 月 9 日改正
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 10 年 4 月 24 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

(名 称)

第 1 条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第 2 条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第 3 条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達するためにつぎの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第 5 条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第 6 条 幹事館は、総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学、私立大学及び私立短期大学の各分会からそれぞれ1館を総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は1年とする。但し、再選できない。

(事務所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会 議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要なる事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学等の機関につき 1 票とし、議決は多数決による。
可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会 計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならない。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年 9 月 12 日決定

昭和 37 年 10 月 2 日改正

昭和 48 年 5 月 11 日改正

昭和 53 年 5 月 12 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

平成 26 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2 ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。

5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8. 総会と同時に会員のための研修会を行うものとする。
9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。

福岡地区	福岡県
中部地区	長崎県、佐賀県、熊本県、大分県
南部地区	鹿児島県、宮崎県、沖縄県
11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和 32 年 9 月 1 日施行
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会 会員の紹介書（別記様式 1）により、入会申込書（別記様式 2）を、総会の 3 ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。
 - (1) 大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。
 - (2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。

別記様式 1

九州地区大学図書館協議会入会紹介書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

記

1. 学 校 （ 法 人 ） 名 ：

2. 大 学 名 ：

3. 図 書 館 名 ：

4. 図 書 館 長 名 ：

5. 所 在 地 ：

別記様式2

九州地区大学図書館協議会入会申込書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

貴協議会の趣旨に賛同し、令和 年度からの入会を申し込みます。

記

1. 学 校 （ 法 人 ） 名 ：
2. 大 学 名 ：
3. 大 学 設 置 年 ：
4. 学 生 数 ：
5. 図 書 館 名 ：
6. 所 在 地 ：
 （電話、FAX 番号）
7. 図 書 館 長 名 ：
8. 図 書 館 の 概 要 ：（別紙）
9. 紹 介 館 名 ：

別紙

図 書 館 の 概 要

図 書 館 名			
事務責任者職・氏名	(電話番号)		
図 書 館 職 員 数	人 (内、司書数 人)		
図 書 館 延 床 面 積	m ²	閲覧座席数	席
蔵 書 冊 数	冊 (内 和書 冊、洋書 冊)		
年間受入図書冊数	冊	年間受入雑誌種数	種
年 間 開 館 日 数	日	通常開館時間	時 分～ 時 分
土 曜 開 館	1 実施 2 未実施		
日 曜 祝 日 開 館	1 実施 2 一部実施 3 未実施		
奉 仕 対 象 学 生 数	人	奉仕対象教職員数	人
年 間 貸 出 冊 数	冊		
図 書 館 相 互 協 力	図書貸借	1 実施 2 未実施	
	文献複写	1 実施 2 未実施	
学外者へのサービス	1 実施 2 未実施		
コンピュータの導入	1 導入済 2 未導入		
コンピュータの適用業務	1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC		
ネットワーク環境	1 学内 LAN 接続済 2 インターネット接続済		
国立情報学研究所との接続	1 接続 (1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続		

九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成 2 年 4 月 20 日施行

平成 5 年 4 月 23 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記 2-(1) の編集委員館を兼ねることができる。
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。
(4) 編集委員館の任期は 1 年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第 1 条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第 2 条 表彰は、次の各号の 1 に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

(1) 勤務期間 20 年に達した者

(2) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第 3 条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第 2 条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第 4 条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号の勤務期間は、国公立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、10年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月18日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

文書番号

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学（附属）図書館長

〇 〇 〇 〇

令和 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

表彰者調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		ふりがな 氏 名		生年月日	年 月 日
表彰の区分	第2条第1号	第2条第2号	(○を付してください。)		
勤務成績					
第7条第2項第2号該当の有無 有 ・ 無					
履 歴 事 項					
年 月 日	勤 務 内 容 等			勤 務 期 間	
				加盟館での勤務期間	その他の図書館での勤務期間
～				年 月 日	年 月 日
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
計				年 月 日	年 月 日
				合計 年 月 日	

- 注 (1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって1月とすること。
- (2) 第7条第2項各号の除算期間は朱書すること。
- (3) 第2条第2号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる資料等を添付すること。

表彰状様式（１）第２条第１号該当者

表 彰 状

殿

あなたは 年のながい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

表彰状様式（２）第２条第２号該当者

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

研修会の補助に関する申合せ

平成 6 年 9 月 20 日決定
平成 7 年 9 月 1 日改正
平成 8 年 4 月 24 日改正
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 10 年 4 月 25 日改正
平成 15 年 4 月 25 日改正
平成 24 年 4 月 20 日改正
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間 1 組織に対して 2 万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

別 紙

経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

令和 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

幹事館 殿

組織名
代表者
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研 修 会 名 及 び 内 容	
開 催 期 間	自 令和 年 月 日 () 時 分 至 令和 年 月 日 () 時 分
開 催 場 所	
参 加 機 関 数	
参 加 人 数	
必 要 経 費 (具体的に)	ア. 講 師 謝 金 _____ イ. 資 料 代 金 _____ ウ. 会 場 借 上 費 _____ エ. そ の 他 _____ 合 計 _____
連 絡 担 当 者	氏名 職 電話

*研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

副幹事館の役割

平成 10 年 8 月 31 日
幹事館・副幹事館会議

- 1 通 常 時
 1. 年度の事業・活動についての立案・協議
 2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
 3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
 4. ホームページ充実のための提言案、意見具申
- 2 会誌発行時
各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが
・所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等
- 3 総 会 時
 1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
 2. 前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
 3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認
- 4 そ の 他
別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成 10 年 8 月 31 日
平成 20 年 1 月 30 日改正
幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。
(URL <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>)
2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。
3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。
 - ・トピックス&NEWS
加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成
総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・加盟館一覧 事務局が作成
- ・役員館一覧 事務局が作成
- ・当番館一覧 事務局が作成
- ・九州地区大学図書館協議会誌

事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）

- ・地区内の図書館活動

各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成

- ・各種関連資料集 事務局が作成
- ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
- ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
- ・フォーラムページ

協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる

4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML 形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。

事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

2023(R5). 1. 1 現在

	館 名	郵便番号	所 在 地	電話番号 () 内はFAX 番号
国 立	九州工業大学 附属図書館 (館長 安永卓生, 情報基盤課長 宮松ひろみ)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町 1 の 1	093-884-3073 (093-884-3075)
	福岡教育大学 学術情報センター図書館 (センター長 小川亜弥子, 学術情報課長 栗林陸生)	811-4192	宗像市赤間文教町 1 番 5 号	0940-35-1849 (0940-35-1705)
	九州大学 附属図書館 (館長 谷口倫一郎, 事務部長 細川聖二)	819-0395	福岡市西区元岡 7 4 4	092-802-2470 (092-802-2474)
	佐賀大学 附属図書館 (館長 中里理子, 学術研究部長事務取扱 山崎英司)	840-8502	佐賀市本庄町 1	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学 附属図書館 (館長 浜田久之, 学術情報部長 佐藤千夏)	852-8521	長崎市文教町 1 番 1 4 号	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学 附属図書館 (館長 田中朋弘, 教育研究支援部長 後藤正三)	860-8555	熊本市中央区黒髪 2 丁目 4 0 の 1	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学 学術情報拠点 (拠点長 中島 誠, 研究推進部長 飯野美智子)	870-1192	大分市大字旦野原 7 0 0	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学 附属図書館 (館長 石川千佳子, 事務長 守矢 浩)	889-2192	宮崎市学園木花台西 1 丁目 1 番地	0985-58-2879 (0985-58-2880)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 橋口 知, 情報推進部長 河野泰久)	890-0065	鹿児島市郡元 1 丁目 2 1 番 3 5 号	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿屋体育大学 附属図書館 (館長 山田理恵, 国際・学術情報課長 川崎伸一)	891-2393	鹿屋市白水町 1	0994-46-4874 (0994-46-4157)
	琉球大学 附属図書館 (館長 喜納育江, 事務部長 森 一郎)	903-0214	中頭郡西原町字千原 1 番地	098-895-8153 (098-895-8154)
公 立	北九州市立大学 図書館 (館長 中尾泰士, 情報化推進課長 野田博司)	802-8577	北九州市小倉南区北方 4 丁目 2 の 1	093-964-4404 (093-964-4437)
	九州歯科大学 附属図書館 (館長 中島啓介, 学務部長 大山博史)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴 2 丁目 6 の 1	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市 学術情報センター (総務企画部長 重岡直之, 学術情報担当課長 太田俊雄)	808-0135	北九州市若松区ひびきの 1 番 3 号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学 附属図書館 (館長 長岡真吾, 副館長 奥村文彦)	813-8529	福岡市東区香住ヶ丘 1 丁目 1 の 1	092-661-2411 (092-661-2416)
	福岡県立大学 附属図書館 (館長 石田智恵美, 学務部長 伊東恵美子)	825-8585	田川市伊田 4 3 9 5	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学 附属図書館 (館長 下野孝文, 佐世保校館長 後藤正之, 佐世保校図書館課長 櫻間秀道, シーボルト校図書館課長 中村和正)	851-2195	西彼杵郡長与町まなび野 1 丁目 1 番 1	095-813-5075 (095-813-5224)
	熊本県立大学 図書館 (館長 江崎一朗, 事務長 宮本真由美)	862-8502	熊本市東区月出 3 丁目 1 番 1 0 0 号	096-321-6614 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学 附属図書館 (館長 清水万敬, 企画情報課長 三宮和彦)	870-0833	大分市上野丘東 1 の 1 1	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学 附属図書館 (館長 福田広美, 財務グループリーダー 伊東美穂)	870-1201	大分市大字廻栖野 2 9 4 4 - 9	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学 附属図書館 (館長 森部陽一郎, 事務長 笠島誠嗣)	880-8520	宮崎市船塚 1 丁目 1 番地 2	0985-20-4814 (0985-20-4806)
公 立	宮崎県立看護大学 附属図書館 (館長 川北直子, 総務課長 衛藤洋介)	880-0929	宮崎市まなび野 3 - 5 - 1	0985-59-7756 (0985-59-7773)
	鹿児島県立短期大学 附属図書館 (館長 岡村俊彦, 副館長 日高敦子)	890-0005	鹿児島市下伊敷 1 丁目 5 2 番 1 号	099-803-4475 (099-803-4473)
	沖縄県立看護大学 附属図書館 (館長 佐伯宣久, 主事 屋比久瑞季)	902-8513	那覇市与儀 1 - 2 4 - 1	098-833-8806 (098-833-5134)

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
公立	沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 (館長 森 達也, 主査 与儀銀子)	903-8602	那覇市首里当蔵町1-4	098-882-5038 (098-882-5068)
	名城大学 附属図書館 (館長 高嶺 司, 図書課長 比嘉辰己)	905-8585	沖縄県名護市字為又1220-1	0980-51-1062 (0980-51-1065)
私立	西日本工業大学 図書館 (館長 鷹尾良行, 学務課長 宇佐圭司)	800-0394	福岡県京都市都荏田町新津1-11	0930-23-7729 (0930-24-7900)
	西南女学院大学 図書館 (館長 岡田和敏, 課長 垂水典子)	803-0835	北九州市小倉北区井堀1丁目3の5	093-583-5959 (093-592-1885)
	九州国際大学 図書館 (館長 松本幸一, 事務室長 坂根一生 (兼務))	805-8512	北九州市八幡東区平野1丁目6の1	093-671-8919 (093-671-8920)
	九州共立大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 田中雄二 (兼務))	807-8585	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3036 (093-603-2260)
	九州女子大学・短期大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 田中雄二 (兼務))	807-8586	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	093-693-3124 (093-603-0494)
	福岡工業大学 附属図書館 (館長 木室義彦, 事務部長 中島良二)	811-0295	福岡市東区和白東3-30-1	092-606-0691 (092-606-7389)
	福岡女学院大学 図書館 (館長 大國真希, 課長 福原香織)	811-1313	福岡市南区日佐3丁目42の1	092-575-6402 (092-575-4605)
	九州産業大学 図書館 (館長 西村香織, 事務部長 宮丸由美子)	813-8503	福岡市東区松香台2丁目3の1	092-673-5382 (092-673-5999) (092-673-5926)
	福岡国際医療福祉大学 図書館 (館長 森 望, 司書 井村普也)	814-0001	福岡市早良区百道浜3丁目6の40	092-832-1200 (092-832-1167)
	福岡大学 図書館 (館長 永星浩一, 事務部長 小柳利行)	814-0180	福岡市城南区七隈8丁目19の1	092-871-6631 (092-865-3794)
	中村学園大学 メディアセンター (図書館) (センター長 山本朋弘, 部長 赤司博文)	814-0198	福岡市城南区別府5丁目7の1	092-851-2573 (092-841-7762)
	西南学院大学 図書館 (館長 古田雅憲, 事務部長 平山 崇)	814-8511	福岡市早良区西新6丁目2番92号	092-823-3426 (092-823-3480)
	純真学園大学 図書館 (館長 石橋孝明, 主任 山本哲也)	815-0036	福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号	092-541-1527 (092-541-1542)
	第一薬科大学 図書館 (館長 松原 大, 主任司書 古沢恒平)	815-8511	福岡市南区玉川町22の1	092-541-0161 (092-542-5698)
	九州情報大学 附属図書館 (館長 丹羽崇之, 図書館司書 井上理恵子)	818-0117	太宰府市宰府6丁目3番1号	092-928-4000 (092-928-3200)
	筑紫女学園大学 附属図書館 (学術情報部長 高木佳世子, 大学総務班主査 半田 隆)	818-0192	太宰府市石坂2丁目12-1	092-925-9910 (092-925-3318)
	久留米工業大学 学術情報センター (館長 麻生 茂, 図書館室長 江崎由美子)	830-0052	久留米市上津町2228-66	0942-65-3480 (0942-22-2385)
	聖マリア学院大学 図書館 (館長 井手悠一郎, 司書 山口真由美)	830-8558	久留米市津福本町422	0942-37-1138 (0942-37-1138)
	久留米大学 附属図書館 (館長 桑野栄治, 課長 野田俊介)	839-8502	久留米市御井町1635	0942-44-4015 (0942-43-0348)
	保健医療経営大学 情報メディアセンター図書館 (センター長 林 勝裕, 図書係 古澤亜紀)	835-0018	みやま市瀬高町高柳960-5	0944-67-7007 (0944-63-3003)
	国際医療福祉大学 大川キャンパス図書館 (館長 小荒田秀一, 事務局長 田中博也)	831-8501	大川市榎津137-1	0944-89-2143 (0944-86-6000)
	西九州大学 附属図書館 (館長 近藤芳昭, 課長 姉川博幸)	842-8585	神崎市神崎町尾崎4490-9	0952-37-9299 (0952-53-7869)
	活水女子大学 図書館 (館長 狩野暁洋, 課長 奥村治輝)	850-8515	長崎市東山手町1-50	095-820-6028 (095-823-3701)

	館 名	郵便番号	所 在 地	電話番号 () 内は FAX 番号
私	長崎総合科学大学 附属図書館 (館長 ブライアン・F・パークガフニ, 図書課長 山川邦子)	851-0193	長崎市網場町 5 3 6	095-838-5141 (095-838-2072)
	長崎外国語大学 教育研究メディアセンター (センター長 野田雄史, マルチメディアライブラリー事務室長補佐 別所佐和子)	851-2196	長崎市横尾 3 - 1 5 - 1	095-840-2005 (095-840-2205)
	長崎純心大学 早坂記念図書館 (館長 浜口美由紀, 司書 熊野志保)	852-8558	長崎市三ツ山町 2 3 5	095-846-0084 (095-845-4279)
	鎮西学院大学 附属図書館 (館長 菅原良子, 司書 天野みゆき)	854-0082	諫早市西栄田町 1 2 1 2 - 1	0957-26-8203 (0957-26-0244)
	長崎国際大学 図書館 (館長 岸原健二, 図書課長 久保隆司)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町 2 8 2 5 - 7	0956-20-5560 (0956-39-4894)
	崇城大学 図書館 (館長 原島 俊, 課長 早見久美子)	860-0082	熊本市西区池田 4 丁目 2 2 - 1	096-326-3419 (096-359-3002)
	九州ルーテル学院大学 図書館 (館長 有村達之, 総務課図書館担当 緒方聡)	860-8520	熊本市中央区黒髪 3 丁目 1 2 - 1 6	096-343-1600 (096-343-0354)
	熊本学園大学 付属図書館 (館長 金 栄緑, 図書情報課長 石川知子)	862-8680	熊本市中央区大江 2 丁目 5 番 1 号	096-371-8047 (096-364-5173)
	東海大学 フェニックスカレッジ熊本 (九州図書館) (マネージャー 伊藤是清)	862-8652	熊本市東区渡鹿 9 - 1 - 1	096-386-2634 (096-386-2769)
	熊本保健科学大学 附属図書館 (館長 飯山準一, 教学支援課長 山崎栄子)	861-5598	熊本市北区和泉町 3 2 5	096-275-2264 (096-275-2265)
	九州看護福祉大学 附属図書館 (館長 松本鈴子, 図書課長 福本直子)	865-0062	玉名市富尾 8 8 8	0968-75-1840 (0968-75-1873)
	日本文理大学 図書館 (館長 福島 学)	870-0397	大分市大字一木 1727	097-524-2711 (097-593-5166)
	立命館アジア太平洋大学 ライブラリー (総合情報センター長 Khan Muhammad T, アカデミック・オフィス課長 山下啓祐)	874-8577	別府市十文字原 1 - 1	0977-78-1140 (0977-78-1141)
	別府大学 附属図書館 (館長 浅野則子, 総務・研究推進課長 畑中美智子)	874-8501	別府市大字北石垣 8 2	0977-66-9633 (0977-66-9632)
	九州保健福祉大学 附属図書館 (館長 倉内紀子, 課長 矢野朋光)	882-8508	延岡市吉野町 1 7 1 4 - 1	0982-23-5562 (0982-23-5560)
	宮崎産業経営大学 附属図書館 (館長 日高光宣, 課長 甲斐康弘)	880-0931	宮崎市古城町丸尾 1 0 0	0985-52-3205 (0985-50-4699)
	南九州大学・南九州短期大学 図書館 (館長 柚木崎千春, 図書課長 赤木裕美)	880-0032	宮崎市霧島 5 - 1 - 2	0985-83-3430 (0985-83-3431)
	宮崎学園 図書館 (宮崎国際大学・宮崎学園短期大学) (館長 河原国男, 館長補佐 小橋智子)	889-1605	宮崎市清武町加納丙 1 4 1 5	0985-85-1410 (0985-85-8189)
	鹿児島国際大学 附属図書館 (館長 久保慎, 図書館事務室長 濱田照美)	891-0197	鹿児島市坂之上 8 - 3 4 - 1	099-263-0732 (099-261-1198)
立	鹿児島純心女子大学 附属図書館 (館長 仙波玲子, 図書課長 岩永眞佐子)	895-0011	薩摩川内市天辰町 2 3 6 5	0996-23-5311 (0996-23-5030)
	志学館大学 図書館 (館長 畑井清隆, 調査役 木佐木和代)	890-8504	鹿児島市紫原一丁目 5 9 - 1	099-812-8501 (099-257-0308)
	沖縄国際大学 図書館 (館長 上江洲 薫, 課長 當銘弘道)	901-2701	宜野湾市宜野湾 2 丁目 6 番 1 号	098-892-1111 (098-893-3274)
	沖縄大学 図書館 (館長 崔珉 寧, 事務長 城間尚樹)	902-8521	那覇市宇国場 5 5 5	098-832-5577 (098-834-1127)
	沖縄キリスト教学院大学 図書館 (館長 上原明子, 主任 座波みゆき)	903-0207	沖縄県中頭郡西原町字翁長 7 7 7	098-946-1236 (098-946-1237)
	沖縄科学技術大学院大学 図書館 (館長 ミリンダ・プロヒッタ, マネージャー 上原藤子)	904-0495	沖縄県国頭郡恩納村字茶谷 1 9 1 9 - 1	098-982-3769

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 () 内はFAX 番号
私立短大	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館 (館長 赤松貴文, 主任司書 内川梓)	803-8511	北九州市小倉北区下到尾津5の1の1	093-561-3541 (093-592-6184)
	福岡女子短期大学 図書館 (館長 高橋敬一, 司書 平山華子)	818-0193	太宰府市五条4丁目16-1	092-922-3604 (092-922-6453)
	鹿児島女子短期大学 附属図書館 (館長 山元有一, 課長 岩元久乃)	890-8565	鹿児島市高麗町6-9	099-254-9195 (099-254-5914)
	鹿児島純心女子短期大学 図書館 (館長 佐々木 亘, 課長 西 真知子)	890-8525	鹿児島市唐湊4丁目22の1	099-253-2677 (099-254-5247)

九州地区大学図書館協議会役員館一覧

年 次 (回次)	幹事館	監査館	表 彰 委 員 館			編集委員館
昭和 48 年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	
昭和 49 年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和 50 年度 (26)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和 51 年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	
昭和 52 年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南学院大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和 53 年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和 54 年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和 55 年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南学院大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和 56 年度 (32)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和 57 年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和 58 年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和 59 年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和 60 年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和 61 年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和 62 年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年 次 (回次)	幹事館	監査館	表 彰 委 員 館			編集委員館
昭和 63 年度 (39)	九州大学	福 岡 女 子 大 学	国 公 私	佐 賀 医 科 大 学 長 崎 国 際 経 済 大 学 福 岡 大 学	琉 球 大 学 鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 八 幡 大 学	
平成元年度 (40)	九州大学	九 州 産 業 大 学	国 公 私	九 州 芸 術 工 科 大 学 長 崎 県 立 女 子 短 期 大 学 西 南 学 院 大 学	佐 賀 大 学 熊 本 女 子 大 学 中 村 学 園 大 学	
平成 2 年度 (41)	九州大学	中 村 学 園 大 学	国 公 私	福 岡 教 育 大 学 北 九 州 大 学 九 州 産 業 大 学	長 崎 大 学 大 分 県 立 芸 術 文 化 短 期 大 学 熊 本 商 科 大 学	九 州 大 学 大 分 医 科 大 学 福 岡 女 子 大 学 福 岡 大 学 福 岡 女 子 短 期 大 学
平成 3 年度 (42)	九州大学	福 岡 大 学	国 公 私	九 州 工 業 大 学 福 岡 県 社 会 保 育 短 期 大 学 久 留 米 大 学	鹿 児 島 大 学 長 崎 県 立 大 学 西 日 本 工 業 大 学	九 州 大 学 鹿 屋 体 育 大 学 九 州 歯 科 大 学 中 村 学 園 大 学 筑 紫 女 学 園 短 期 大 学
平成 4 年度 (43)	九州大学	福 岡 女 子 短 期 大 学	国 公 私	宮 崎 大 学 福 岡 女 子 大 学 鹿 児 島 経 済 大 学	大 分 大 学 九 州 歯 科 大 学 活 水 女 子 大 学	九 州 大 学 福 岡 教 育 大 学 北 九 州 大 学 九 州 国 際 大 学 東 筑 紫 短 期 大 学
平成 5 年度 (44)	九州大学	福 岡 女 子 大 学	国 公 私	宮 崎 医 科 大 学 熊 本 女 子 大 学 活 水 女 子 大 学	大 分 医 科 大 学 鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 鹿 児 島 経 済 大 学	九 州 大 学 熊 本 大 学 福 岡 女 子 大 学 西 南 学 院 大 学 筑 紫 女 学 園 短 期 大 学
平成 6 年度 (45)	九州大学	九 州 芸 術 工 科 大 学	国 公 私	熊 本 大 学 大 分 県 立 芸 術 文 化 短 期 大 学 活 水 女 子 大 学	佐 賀 医 科 大 学 宮 崎 公 立 大 学 鹿 児 島 経 済 大 学	九 州 大 学 宮 崎 大 学 福 岡 県 立 大 学 九 州 産 業 大 学 筑 紫 女 学 園 短 期 大 学
平成 7 年度 (46)	九州大学	九 州 産 業 大 学	国 公 私	鹿 屋 体 育 大 学 北 九 州 大 学 第 一 薬 科 大 学	琉 球 大 学 長 崎 県 立 大 学 南 九 州 大 学	九 州 大 学 九 州 工 業 大 学 九 州 歯 科 大 学 久 留 米 大 学 筑 紫 女 学 園 短 期 大 学
平成 8 年度 (47)	九州大学	西 南 学 院 大 学	国 公 私	九 州 芸 術 工 科 大 学 福 岡 女 子 大 学 九 州 東 海 大 学	佐 賀 大 学 九 州 歯 科 大 学 熊 本 学 園 大 学	九 州 大 学 大 分 大 学 北 九 州 大 学 九 州 共 立 大 学 西 南 女 学 院 短 期 大 学
平成 9 年度 (48)	九州大学	福 岡 教 育 大 学	国 公 私	九 州 工 業 大 学 熊 本 県 立 大 学 九 州 女 子 大 学	宮 崎 大 学 鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 久 留 米 工 業 大 学	九 州 大 学 佐 賀 大 学 九 州 歯 科 大 学 福 岡 大 学 西 南 女 学 院 短 期 大 学

年 次 (回次)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
平成 10 年度 (49)	九州大学	国 公 私 私短	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州国際大学 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成 11 年度 (50)	九州大学	国 公 私 私短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島経済大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成 12 年度 (51)	九州大学	国 公 私 私短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島国際大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成 13 年度 (52)	九州大学	国 公 私 私短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成 14 年度 (53)	九州大学	国 公 私 私短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成 15 年度 (54)	九州大学	国 公 私 私短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・短期大学 九州大学 宮崎大学
平成 16 年度 (55)	九州大学	国 公 私 私短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志学館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・南九州短期大学 西南女学院大学・短期大学
平成 17 年度 (56)	九州大学	国 公 私 私短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立看護大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成 18 年度 (57)	九州大学	国 公 私 私短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 19 年度 (58)	九州大学	国 公 私 私短	熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 九州女子大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

年 次 (回次)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
平成 20 年度 (59)	九州大学	国 公 私 私短	熊 本 大 学 宮 崎 県 立 看 護 大 学 福 岡 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学	宮 崎 大 学 大分県立看護科学大学 別 府 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	長 崎 大 学 九 州 歯 科 大 学 鹿 児 島 国 際 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 21 年度 (60)	九州大学	国 公 私 私短	大 分 大 学 福 岡 県 立 大 学 九 州 産 業 大 学 九 州 大 谷 短 期 大 学	福岡女子大学	福 岡 教 育 大 学 宮 崎 公 立 大 学 福岡国際大学・福岡女子短期大学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	鹿 児 島 大 学 北 九 州 市 立 大 学 西 南 女 学 院 大 学 中 九 州 短 期 大 学
平成 22 年度 (61)	九州大学	国 公 私 私短	大 分 大 学 福 岡 県 立 大 学 九 州 産 業 大 学 九 州 大 谷 短 期 大 学	福 岡 大 学	長 崎 大 学 福 岡 女 子 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	九 州 工 業 大 学 北九州学術研究都市学術情報センター 活 水 女 子 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 23 年度 (62)	九州大学	国 公 私 私短	宮 崎 大 学 長 崎 県 立 大 学 熊 本 学 園 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡工業大学	鹿 児 島 大 学 大分県立芸術文化短期大学 福 岡 女 学 院 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	佐 賀 大 学 福 岡 県 立 大 学 九 州 国 際 大 学 九 州 大 谷 短 期 大 学
平成 24 年度 (63)	九州大学	国 公 私 私短	宮 崎 大 学 長 崎 県 立 大 学 熊 本 学 園 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	大 分 大 学 沖 縄 県 立 看 護 大 学 九 州 東 海 大 学 九 州 大 谷 短 期 大 学	琉 球 大 学 福 岡 女 子 大 学 沖 縄 国 際 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学
平成 25 年度 (64)	九州大学	国 公 私 私短	鹿 児 島 大 学 鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 久 留 米 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	西南学院大学	鹿 屋 体 育 大 学 北 九 州 市 立 大 学 九 州 共 立 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 短 期 大 学	宮 崎 大 学 九 州 歯 科 大 学 聖 マリア 学 院 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 短 期 大 学
平成 26 年度 (65)	九州大学	国 公 私 私短	鹿 児 島 大 学 鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 久 留 米 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	九州産業大学	熊 本 大 学 熊 本 県 立 大 学 九州保健福祉大学 東 九 州 短 期 大 学	大 分 大 学 北 九 州 市 立 大 学 西 九 州 大 学 東 九 州 短 期 大 学
平成 27 年度 (66)	九州大学	国 公 私 私短	鹿 屋 体 育 大 学 九 州 歯 科 大 学 沖 縄 国 際 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 短 期 大 学	中村学園大学	琉 球 大 学 鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 九 州 情 報 大 学 福 岡 国 際 大 学 ・ 福 岡 女 子 短 期 大 学	熊 本 大 学 北九州学術研究都市学術情報センター 西日本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成 28 年度 (67)	九州大学	国 公 私 私短	鹿 屋 体 育 大 学 九 州 歯 科 大 学 沖 縄 国 際 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 短 期 大 学	福岡教育大学	佐 賀 大 学 北九州学術研究都市学術情報センター 長崎総合科学大学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	福 岡 教 育 大 学 福 岡 女 子 大 学 沖 縄 キ リ ス ト 教 学 院 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学
平成 29 年度 (68)	九州大学	国 公 私 私短	琉 球 大 学 大分県立看護科学大学 九 州 国 際 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡女子大学	九 州 工 業 大 学 長 崎 県 立 大 学 西 日 本 工 業 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿 屋 体 育 大 学 福 岡 県 立 大 学 九 州 情 報 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 30 年度 (69)	九州大学	国 公 私 私短	琉 球 大 学 大分県立看護科学大学 九 州 国 際 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福 岡 大 学	宮 崎 大 学 宮 崎 県 立 看 護 大 学 沖 縄 科 学 技 術 大 学 院 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 短 期 大 学	長 崎 大 学 九 州 歯 科 大 学 熊 本 保 健 科 学 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 短 期 大 学
平成 31 年度 (令和元年度) (70)	九州大学	国 公 私 私短	佐 賀 大 学 宮 崎 公 立 大 学 福 岡 工 業 大 学 福 岡 女 子 短 期 大 学	福岡工業大学	福 岡 教 育 大 学 福 岡 県 立 大 学 純 真 学 園 大 学 福 岡 女 子 短 期 大 学	鹿 児 島 大 学 北 九 州 市 立 大 学 西 南 女 学 院 大 学 福岡女子短期大学
令和 2 年度 (71)	九州大学	国 公 私 私短	佐 賀 大 学 宮 崎 公 立 大 学 福 岡 工 業 大 学 福 岡 女 子 短 期 大 学	筑紫女学園大学	長 崎 大 学 大分県立看護科学大学 九州ルーテル学院大学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	九 州 工 業 大 学 北九州学術研究都市学術情報センター 宮 崎 国 際 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学

年 次 (回次)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
令和3年度 (72)	九州大学	国 公 私 短	九 州 工 業 大 学 福 岡 女 子 大 学 福 岡 工 業 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	西南学院大学	鹿 児 島 大 学 宮 崎 公 立 大 学 九 州 国 際 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	佐 賀 大 学 福 岡 女 子 大 学 久 留 米 工 業 大 学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
令和4年度 (73)	九州大学	国 公 私 短	九 州 工 業 大 学 福 岡 女 子 大 学 福 岡 工 業 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	九州産業大学	大 分 大 学 九 州 歯 科 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 短 期 大 学	琉 球 大 学 福 岡 県 立 大 学 鎮 西 学 院 大 学 鹿 児 島 純 心 女 子 短 期 大 学
令和5年度 (74)	九州大学	国 公 私 短				

九州地区大学図書館協議会総会当番館一覧

回次	年度	県別	大 学
1	25	福 岡	九 州 大 学
2	26	熊 本	熊 本 大 学
3	27	長 崎	長 崎 大 学
4	28	佐 賀	佐 賀 大 学
5	29	鹿児島	鹿 児 島 大 学
6	30	宮 崎	宮 崎 大 学
7	31	大 分	大 分 大 学
8	32	福 岡	西 南 学 院 大 学
9	33	福 岡	九 州 大 学
10	34	熊 本	熊 本 大 学
11	35	福 岡	九 州 工 業 大 学
12	36	長 崎	長 崎 大 学
13	37	福 岡	福 岡 大 学
14	38	佐 賀	佐 賀 大 学
15	39	福 岡	福 岡 教 育 大 学
16	40	宮 崎	宮 崎 大 学
17	41	福 岡	八 幡 大 学
18	42	鹿児島	鹿 児 島 大 学
19	43	福 岡	九 州 大 学
20	44	熊 本	熊 本 商 科 大 学
21	45	福 岡	久 留 米 大 学
22	46	大 分	大 分 大 学
23	47	福 岡	北 九 州 大 学
24	48	長 崎	長 崎 大 学
25	49	福 岡	九 州 産 業 大 学
26	50	佐 賀	佐 賀 大 学
		〃	佐 賀 龍 谷 短 期 大 学
27	51	沖 縄	琉 球 大 学
28	52	福 岡	九 州 大 学
29	53	大 分	大 分 大 学
30	54	宮 崎	宮 崎 大 学
31	55	福 岡	九 州 歯 科 大 学
		〃	福 岡 女 子 大 学
		〃	福 岡 県 社 会 保 険 短 期 大 学
32	56	熊 本	熊 本 女 子 大 学
33	57	鹿児島	鹿 児 島 大 学
		〃	鹿 児 島 県 立 短 期 大 学
		〃	鹿 児 島 経 済 大 学

回次	年度	県別	大 学
34	58	福 岡	西 日 本 工 業 大 学
35	59	長 崎	長 崎 大 学
36	60	宮 崎	宮 崎 医 科 大 学
		大 分	大 分 県 立 芸 術 短 期 大 学
		宮 崎	南 九 州 大 学
		長 崎	純 心 女 子 短 期 大 学
37	61	福 岡	九 州 芸 術 工 科 大 学
38	62	佐 賀	佐 賀 医 科 大 学
39	63	沖 縄	琉 球 大 学
40	平成元	福 岡	北 九 州 大 学
41	2	大 分	大 分 医 科 大 学
42	3	鹿児島	鹿 屋 体 育 大 学
43	4	福 岡	西 南 学 院 大 学
44	5	熊 本	九 州 東 海 大 学
45	6	宮 崎	宮 崎 産 業 経 営 大 学
46	7	福 岡	九 州 工 業 大 学
47	8	長 崎	長 崎 大 学
48	9	鹿児島	鹿 児 島 経 済 大 学
49	10	福 岡	福 岡 女 子 大 学
50	11	佐 賀	佐 賀 大 学
51	12	沖 縄	沖 縄 国 際 大 学
52	13	福 岡	九 州 女 子 大 学
53	14	大 分	大 分 大 学
54	15	宮 崎	宮 崎 大 学
55	16	福 岡	福 岡 教 育 大 学
56	17	熊 本	熊 本 大 学
57	18	鹿児島	鹿 屋 体 育 大 学
58	19	福 岡	九 州 大 学
59	20	長 崎	長 崎 大 学
60	21	沖 縄	琉 球 大 学
61	22	福 岡	福 岡 県 立 大 学
		〃	九 州 歯 科 大 学
		〃	北九州学術研究都市（学術情報センター）
62	23	佐 賀	佐 賀 大 学
63	24	鹿児島	鹿 児 島 大 学
64	25	福 岡	福 岡 教 育 大 学
65	26	大 分	大 分 大 学 学 術 情 報 拠 点
66	27	宮 崎	宮 崎 大 学

回次	年度	県別	大 学
67	28	福 岡	九 州 大 学
68	29	長 崎	長 崎 大 学
69	30	鹿児島	鹿 屋 体 育 大 学
70	31	福 岡	九 州 工 業 大 学
71	令和2	熊 本	熊 本 大 学
72	3	沖 縄	琉 球 大 学
73	4	福 岡	福 岡 教 育 大 学
74	5	佐 賀	佐 賀 大 学
75	6		

sound parasol

サウンドパラソル



気軽にオープンスペースでWeb会議ができる、全く新しいミーティングテーブル。



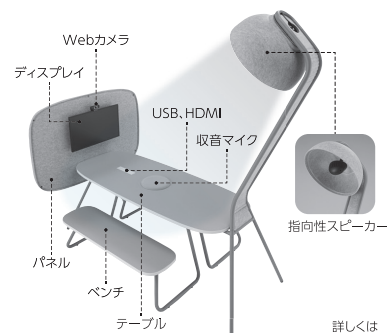
オープンスペースで行う従来のWeb会議

オープンスペースでのWeb会議は音声が周囲に広がり、他のワーカーの業務を阻害してしまいます。また周囲の雑音により相手に声が伝わりづらいなど、Web会議自体がスムーズに進まないことがあります。



サウンドパラソルを使用したWeb会議

指向性スピーカーが音を最適な範囲にコントロールし、周囲へのノイズを軽減します。また天板上の収音マイクが、周囲の雑音を抑制して相手に必要な音だけを届けることができます。



詳しくは
YouTube動画を
ご覧ください。



株式会社イトーキ 福岡支店

福岡市中央区天神 1-10-20 天神ビジネスセンター 〒810-0001 TEL 092-791-7398 URL <https://www.itoki.jp/>

図書館情報システム NALIS

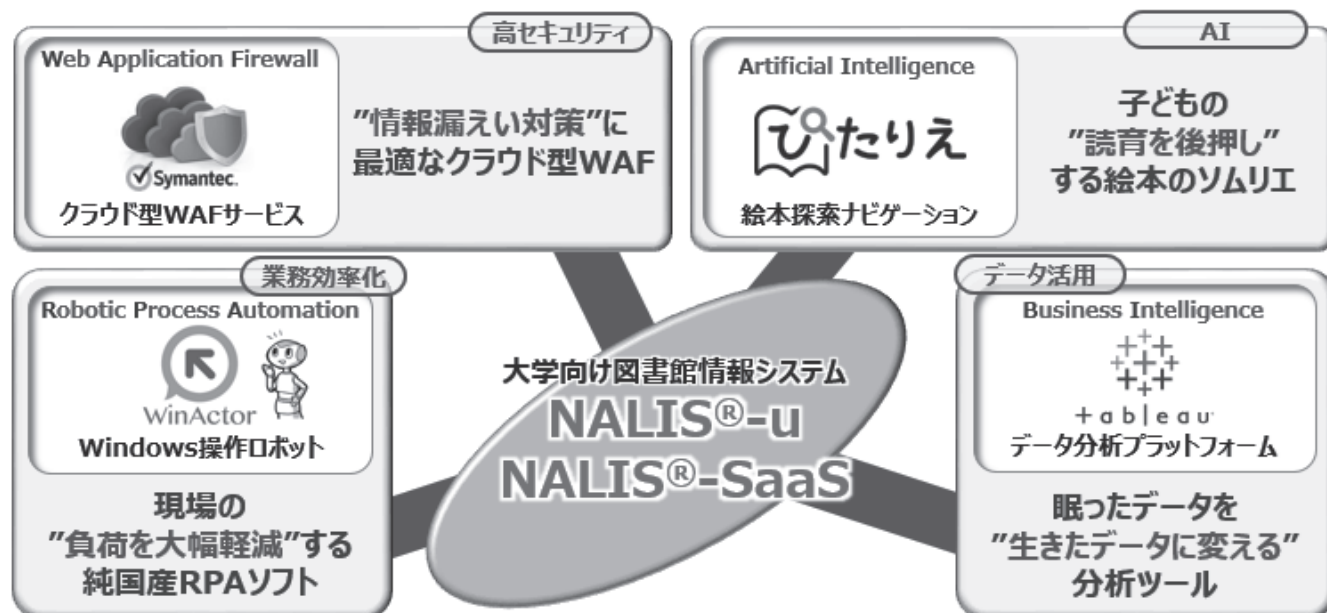
～クラウド型サービス、先進の周辺ソリューションを提供～

株式会社 NTT データ九州

図書館情報システム NALIS は、『堅牢なデータセンタ』、『安全なネットワーク』、『高度なセキュリティ』を柱としたクラウド型サービスを提供します。



また、先進の周辺ソリューションにより、図書館に新たな付加価値をご提供します。



NTT Data
Trusted Global Innovator

【お問い合わせ先】 株式会社 NTT データ九州
公共システム事業部 文教ビジネス統括部
電話 : 092-475-5145
Email : nalis@nttdata-kyushu.co.jp

Research Intelligence

Data Monitor

機関研究データの
自動追跡・監視ツール

Data Monitorは、機関に紐づく研究データの一括検索を可能にする研究データの自動追跡・監視ツールです。



研究成果の
全体像を把握



研究データポリシー
の推進



研究助成機関からの
要請への対応

研究データ把握の課題

- 公開されている研究データの多くは、研究者が外部の汎用リポジトリや分野別リポジトリに保存しています
- 大学・研究機関は、研究者が利用する何千もの公開データリポジトリをモニターする必要があります
- 手作業でデータをトラッキングすることは、大学・研究機関にとって大きな負担です

~90%

公開研究データが
外部リポジトリに
保存されている割合

~10%

公開研究データが
機関リポジトリに
保存されている割合

“

手作業で研究データを
探すのは時間がかかり、
サステナブルではありません。
Data Monitorは、
そのプロセスを自動化し、
私たちが大きく前進させました。
そしてData MonitorとPure
との連携が重要です。

- Christina Elsenga,
科学情報専門家、
フローニンゲン大学図書館、
オランダ



エルゼビア・ジャパン株式会社

リサーチソリューションズ

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布1丁目ビル4階

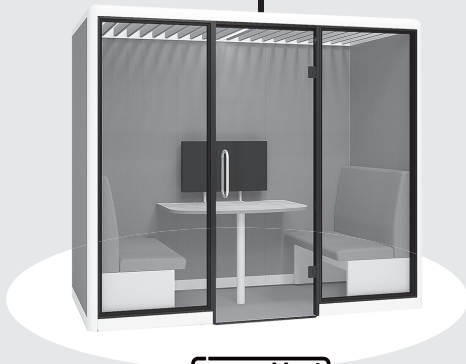
TEL: 03-5561-5034 Email: jp.pr@elsevier.com <https://www.elsevier.com/ja-jp>

Data Monitor is a service mark of Elsevier Inc.
Copyright © May 2022 Elsevier B.V.

2023年1月

「オンライン授業」と「WEB面談」に
最適なワークブースをご提案します。

セミクローズ型

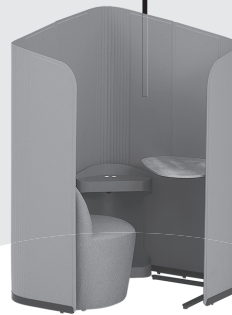


Snow Hut

[スノーハット]

集中環境をもたらす
セミクローズ型ワークブース

レイアウト変更が簡単



co-comori

[ココモリ]

フェルト素材で軽く
レイアウト変更も容易



最高の集中空間



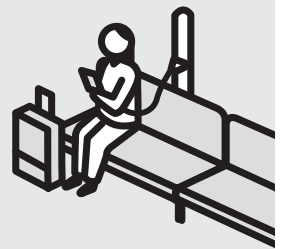
納入実績
業界 **1** 位



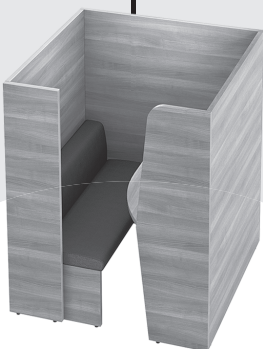
TELECUBE by Okamura

[テレキューブ by オカムラ]

フルクローズ型で集中作業に最適



豊富なカラー



Bresta

[ブレスト]

web会議にも最適な個室型ソファブース

ミニマムサイズ



drape

[ドレープ]

吸音パネルがワーカーを包み込む
ミニマムサイズのブース



働き方が変わり、オンオフが曖昧な今だからこそ、
どこで、どう集中するかが、大切。
オカムラの多様なワークブースは、働く人の集中を守ります。

人を想い、場を創る。

<https://www.okamura.co.jp/> 株式会社オカムラ 西日本支社 TEL:092-482-8822

OKAMURA



～ オフィスの変革をカタチにする～

快適で働きやすいオフィス環境をサポートします。
リノベーションから補修まで、幅広いサービスをワンストップで提供します。

 **Fukuoka** オフィスパートナー
Office partner

キングテック株式会社 福岡支店

〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-34-17
TEL 092-622-4400 FAX 092-624-6195
本社：北九州市小倉北区東港2-5-1
支店：東京・名古屋・大阪・広島・山口・熊本・大分・鹿児島・沖縄

最適な空間をご提案いたします

金剛は、お客様と共に
それぞれの施設に応じた空間・環境づくりを行っています。



図書館の開架・閉架書架 / 博物館・美術館の保存設備など



安心と先進で社会文化に貢献する



金剛株式会社

www.kongo-corp.co.jp

熊本本社 / 熊本市西区上熊本 3-8-1

九州支店 / 福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第7 岡部ビル 9F

TEL (096)355-1111(代)

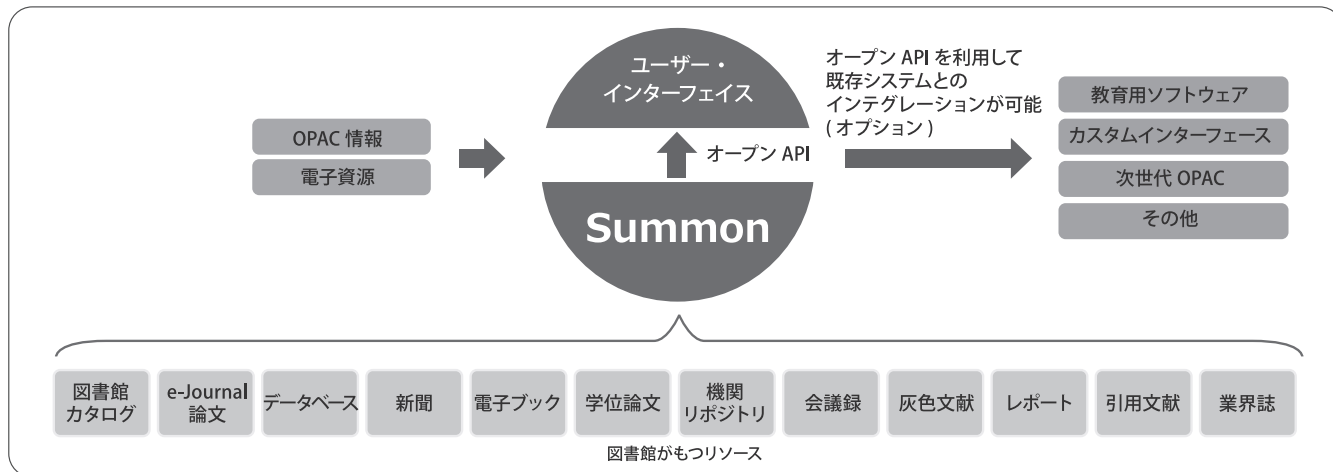
TEL (092)433-3988

支店・営業所 / 仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・岡山・高松・
福岡・北九州・大分・長崎・佐賀・熊本・八代・天草・
宮崎・鹿児島・沖縄



図書館が提供する様々な種類の学術資料を 一つの検索窓からまとめて検索することができます

Summon は Ex Libris 社のウェブスケールディスカバリーサービスです。
グーグルのようなシンプルなインターフェイスから図書館独自の広範囲で信頼性の高い情報へすばやくアクセスすることができます。



POINT 1

すべてのリソースを一度に検索

すべてのリソースをたったひとつの検索窓から見つけることができます。現在のインターネットユーザーのニーズを満たす新しい学術情報の検索スタイルを提供します。

POINT 2

信頼のおけるコンテンツだけを検索

検索対象はすべて図書館のコンテンツです。信頼性が高く、しかも入手可能なコンテンツにのみアクセスすることができます。

POINT 3

瞬時に検索結果を表示

図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせるので、Google などの検索スピードを実現します。



図書館システムと連携して 所蔵・貸出情報を リアルタイムで表示

冊子の検索結果には現在の貸出し状況や保管場所が表示されます。検索結果をクリックすると図書館 OPAC のライブリンクになっています。

availability: 貸出中, 中央図書館所蔵

SaaS 型サービスなので 導入・メンテナンスの 手間がかかりません

Software as a Service(SaaS) で提供されるため、サーバーの設置やアップデート、メンテナンスといった作業に人員を割く必要はありません。常に最新で最適な状態でサービスを利用することが出来ます。

目的の資料への確にナビゲートします

ファセット機能によりフォーマット、主題、出版年などによる絞り込み検索を効率的に実行できます。また、360Link などのリンクリゾルバと連携して該当の資料に確実にたどり着くことができます。

360 Link

お見積もりやトライアルのご相談は…

Content Solutions Company
SUNMEDIA

株式会社サンメディア e-Port カンパニー

e-mail: e-port@sunmedia.co.jp

東京都中野区本町 3-10-3 PORT ビル Tel: 03-3299-1575

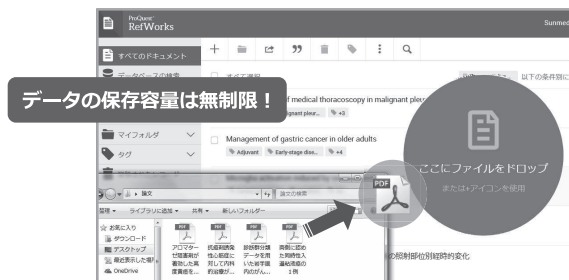
文献管理と共有、 論文作成を支援する Web サービス

RefWorks は Ex Libris 社の提供する文献管理ツールです。PubMed や医中誌 Web、Google Scholar などのデータベースで見つけた文献情報を簡単にに取り込み、クラウド上で管理することができます。取り込んだ文献情報を使って論文の参考文献リストを指定した形式で簡単に出力することもできます。

RefWorks

ドラッグ & ドロップで簡単に取り込み

PDF をドラッグ & ドロップするだけで本文と書誌情報を取り込みます。本文はいつでも RefWorks 上で閲覧できます。



Web サイトの情報を取り込む"Save to RefWorks"

お気に入りに登録した "Save to RefWorks" をクリックすると、Web サイトの情報を自動的に取り込みます。



参考文献リストの作成

RefWorks 上で書誌情報と出力フォーマットを選択するだけで、参考文献リストを作成できます。



Wordで論文を執筆中の方へ！

RefWorks Citation Manager

アドインを利用し、Wordで作成中の論文に文中引用・参考文献リストを直接挿入できます。



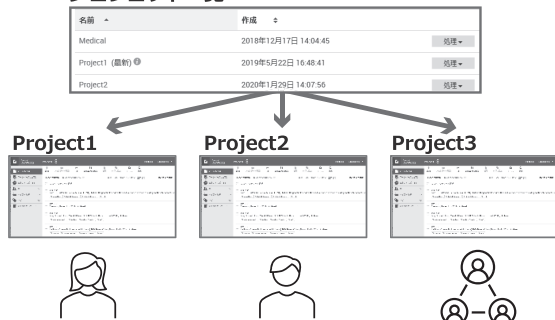
出力フォーマットの作成依頼 も承ります！

RefWorks では 6,500 以上のフォーマットから選択し参考文献リストを作成できます。また、目的の出力フォーマットが見つからない場合は、投稿規定等をもとにサンメディアで出力フォーマットを作成いたします。

共同研究者と共有する

目的に応じてプロジェクトに分けて RefWorks を利用可能です。プロジェクトを共有して共同研究に利用することもできます。

プロジェクト一覧



大好評！ オンライン講習会を開催します

RefWorks の利用方法を分かりやすく解説する講習会を開催します。サンメディアまでご連絡ください。

／ 今なら ／
**無料トライアル
受付中！**



<https://www.sunmedia.co.jp/e-port-kaigai-trial-form/>

お気軽に
お申込みください！



Content Solutions Company
SUNMEDIA

株式会社サンメディア e-Port カンパニー
e-mail : e-port@sunmedia.co.jp

〒164-0012 東京都中野区本町 3-10-3 PORT ビル Tel : 03-3299-1575 Fax : 03-3374-1410

図書館探索アプリ **これ棚**[®]

スマホで本との
新たな出会いを創出。



利用者の 資料探索を支援

スマホを書架にかざすだけで、
資料の情報が画面に表示されるので、
資料を探しやすくなります。

- ✓ブラウジングの際、気になった資料の情報をAR表示で気軽に確認できます。
- ✓検索した資料を探す際、見つけやすいようマークして表示します。
- ✓好きな言葉をキーワード登録しておく、該当する資料をマークして表示します。

<カメレオンコード>は株式会社ソフトの登録商標です。



ナカバヤシ株式会社

図書館ソリューション営業部

福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭 5 丁目 7 番 11 号
TEL 092(641)3661 FAX 092(641)3699

HP:<https://www.nakabayashi.co.jp/> MAIL:toshokan@nakabayashi.co.jp

動画公開中



丸善ジュンク堂書店 外商部 福岡営業所

本買いませんか？

メールでお気軽にお問い合わせ下さい。
請求書払いにもご対応しております。

お問い合わせ先 E-mail fk-gai@junkudo.co.jp
福岡市中央区大名 1-15-1 天神西通リスクエア 4F
電話・092-738-3405 F A X・092-717-7321



STACK RUNNER®
制震 ハンドル式スタックランナー

強固なラック仕様と快適な操作性に加え利用者に対する安全性をさらに強化しました。

利用者の安全を
第一に考えた
地震対策
「制震機能」付

適度なブレーキ力が働き、
棚の暴走と転倒を防止して
通路を確保

よりよい保管システムを提供する
 **日本ファイリング**

日本ファイリング株式会社
本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2
支店／大阪・名古屋 営業所／札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

お申込み・お問い合わせ
<https://www.nipponfiling.co.jp>

Importer of academic publications & software



福岡海外株式会社



当社は創業以来 50 年に渡り築き上げました海外版元との協業関係を生かしてお客様の学術研究・教育活動にお役に立てますよう努力してまいります、今後とも引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

【学術書・ジャーナルバックナンバー・電子ジャーナル・電子書籍・データベースの輸入販売】

〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町 10 番 3 号

Tel : 092-402-2145 Fax : 092-402-2146

E-mail: fkaigai@lime.ocn.ne.jp

<http://www.fkaigai.com>

広げます あなたの未来 政府刊行物

探したい本はここで見つかる。

政府刊行物のホームページ

<http://www.gov-book.or.jp/>

政府刊行物サービス・ステーション

天神:福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神 1F)

TEL(092)721-4846

市役所:福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)

TEL(092)722-4861

県庁:福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F)

TEL(092)641-7838

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所

〒810-0001福岡市中央区天神 4-5-17

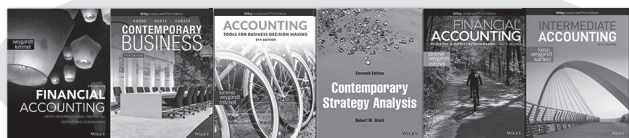
TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385

WILEY

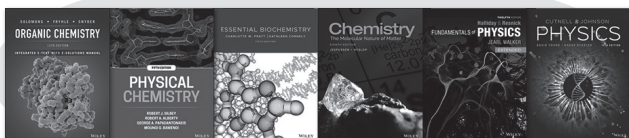
テキスト ベストセラー

Wiley の人気教科書タイトルが好評配信中！
採用校も多い教科書タイトルが多数！！

人文社会学関連



理工学関連



詳細はお問合せください。

BLOOMSBURY ACADEMIC

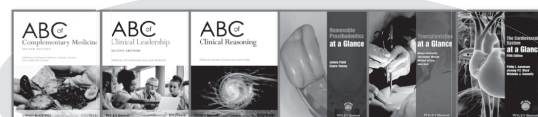


BLOOMSBURYは1986年に設立され、ブリティッシュブックアワード2021も受賞した英国の世界的な出版社です。ノーベル賞、ピューリッツァー賞、ブッカー賞を受賞した多数の著者と共に、たくさんの良質な学術書・専門書などを刊行しています。



政治、経済、歴史から数学、化学、物理学、生物学等々、幅広い分野から1冊1トピックで分かりやすく、楽しく入門レベルの知識を提供するシリーズです。

Health & Medical Science シリーズ

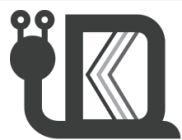


At a Glance シリーズや、ABCシリーズといった医学生や若手臨床医などのためのWileyの医療・健康関連のタイトルを配信中！医学・歯学・看護学など幅広い分野を英語で学べます。



MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社学術情報ソリューション事業部 Maruzen eBook Library 担当
Tel : 03-6367-6008 Fax: 03-6367-6184 e-mail: ebook-i@maruzen.co.jp
営業時間：9：00～17：30（土・日・祝日、年末年始を除く）



紀伊國屋書店 学術電子図書館

KinoDen
Kinokuniya Digital Library

株式会社紀伊國屋書店 九州営業部

福岡営業所 TEL 092-437-5353 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル6F
熊本営業所 TEL 096-322-5666 〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-1 太陽生命熊本第2ビル2F
鹿児島営業所 TEL 099-223-4519 〒892-0847 鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第2ビル8F
沖縄営業所 TEL 098-887-3678 〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-99-1 まるしんビル
【本社】デジタル情報営業部 TEL 03-6910-0518 〒153-8504 東京都目黒区下目黒3丁目7番10号

- 紀伊國屋書店が経験とノウハウを活かして2018年に自社開発した電子書籍プラットフォーム
- 専門書・一般教養書を中心として、約7万点の「買切型」コンテンツを提供
- 読みやすいビューア、未購入タイトルも含めた全文検索や、ほぼ全点を試し読みできる等「本当に使われる 電子図書館」を目指しています
- 2023年1月現在、国内外の大学図書館のほか、企業・官公庁・公共図書館を含めて430以上の機関で導入
公共図書館では、福岡県、佐賀県、大分県、沖縄県、徳島県、京都府、愛知県、岐阜県、山口県、静岡県、北海道など14の道府県立図書館、市町村では三鷹市、いわき市、荒尾市が導入しています。



てのひらに、
図書館を。

KinoDen 連携アプリの提供を開始しました。
あなたのスマホが、図書館にかわります。

オプション：全文試し読みプラン (KinoDen DDA)

- ☐ 利用者は未購入コンテンツを5分間、好きな所を試し読み！*
 - ☐ 図書館は利用統計の取得により選書購入の参考に！
 - ☐ 大学図書館で利用者参加型の選書企画として定着
- *一定額の購入保証で期間限定運用。
利用者からのリクエスト機能もあり。



ミライの

ドキドキを

リアル（現実）に



皆様の課題の解決をお手伝いする企業
として、印刷を核とした新しいサービス
を提供し、社業の発展および社会貢献
に邁進してまいります。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

ミドリ印刷は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

本 社（グループ本部）

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目17番12号
TEL 092-292-0300 FAX 092-483-9089

営業部（工場部）

〒812-0857 福岡市博多区西月隈1丁目2番11号
TEL 092-441-6747 FAX 092-473-1275

www.midori-p.com



九州地区大学図書館協議会誌 第65号

令和5年2月発行

発行 福岡市西区元岡744 九州大学附属図書館内
九州地区大学図書館協議会

T E L (092) 802-2470

F A X (092) 802-2474

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>

